

## 平成24年 (2012)

### 看護学専攻

#### 著書および学術論文

1. Mieko Uchiyama, Yongbum Lee, Du-Yih Tsai, Kiyoko Kazama, Yasuko Minagawa, Mieko Sadakata, Mitsuko Sayama : Quantitative assessment of muscle activity in mammography positioning. Proc.of XX IMEKO World Congress, TC13-P-1 (338), 1-4.2012.
2. Mieko Uchiyama, Yongbum Lee, Mieko Sadakata, Mitsuko Sayama, Du-Yih Tsai : Measurement of Muscle Activities for Evaluating Physical Burden and Pain during Mammography Positioning. The Tohoku Journal of Experimental Medicine, 228 (1), 53-58. 2012.
3. 井越寿美子, 内山美枝子, 田中美央, 笠井美香子, 佐藤富貴子: '気づく' に着目した新人看護師臨床実践トレーニングプログラムにおける新人看護師の '気づき' と臨床実践への活用. 平成24年度新潟県看護協会看護学会誌, 22-30. 2012.
4. 菊永 淳: 看護師が語る「根治治療が困難になったがん患者への告知」をめぐるナラティブ分析-構造, 関係性, テーマ-, 新潟大学大学院修士学術論文, 新潟大学大学院保健学研究科, 2012, 3.
5. 本間祐美子, 小林恵子, 北川公子. 豪雪地域に暮らす高齢パーキンソン病患者の生活機能にみられる季節差. 日本在宅ケア学会誌. 2012 ; 16 (1) : 85-91.
6. 小山洋恵, 小林恵子. 脳血管疾患をもつ高齢患者の退院先の意向と退院支援の検討. 日本在宅ケア学会誌. 2012 ; 16 (1) : 100-106.
7. 齋藤君枝, 青木萩子, 坂井さゆり, 上田睦子, 石川玲子, 岩佐有華, 後藤雅博. 保健学科教員による東日本大震災後の新潟市避難所健康支援活動, 新大医保紀要2012;10:39-48.
8. 齋藤君枝, 村松芳幸, 吉嶺文俊, 真島一郎. 看護職者のヒヤリハットに及ぼす睡眠障害とバーンアウトの影響. 心身医学2012;52:955-962.
9. 吉田留巳, 佐山光子, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂患児の第1期矯正歯科治療終了時期における母親の心情とその構造. 新潟歯学会雑誌42 (1) : 55-56, 2012
10. 草島悦子, 坂井さゆり, 河正子: 緩和ケア専門家の経験に学ぶスピリチュアルケア-緩和ケア熟練専門職の語りから-, 田村恵子他編; 看護に活かす! スピリチュアルケアの手引き第7章D所収. 青海社, 2012 ; 150-152
11. 坂井さゆり: スピリチュアルケア提供者のセルフケア, 田村恵子他編; 看護に活かす! スピリチュアルケアの手引き第8章所収. 青海社, 2012 ; 158-163
12. 草島悦子, 坂井さゆり, 河正子: スピリチュアルケアにおける医療者の備えとケアの視点, 田村恵子他編; 看護に活かす! スピリチュアルケアの手引き第5章所収. 青海社, 2012 ; 92-112
13. 村山佑子, 山田紘美, 坂井さゆり, 池 睦美, 渡辺ひとみ: ステントグラフト内挿術を受け退院した高齢者 (大動脈瘤患者)・家族のヘルスケアニーズ. 第42回 (平成23年度) 日本看護学会論文集 老年看護. 2012 ; 94 - 96. 【2011年度学会委員会推薦論文受賞】
14. Utako Shimizu, Shota Saito, Yiwei Ling, et al. : Cost effectiveness achieved through changing the composition of renal replacement therapy in Japan. J Med Econ. 2012;15:444-53
15. 清水詩子, 青木萩子. : 超長期透析患者の抱える苦痛の形成過程. 日本腎不全看護学会誌. 2012;14:62-71.
16. 福田友希, 飯田純子, 住吉智子. 小学校高学年児童のボディイメージ -児童と母親との認識の比較- 新大医保紀要. 2012 ; 10(2) : 23-28.
17. 住吉智子. A市における保育士が抱く与薬の困難さの実態調査-保育園看護職に期待する役割を中心に. 保育と保健. 2012 ; 18(29) : 57-60.
18. 田中美央, 住吉智子, 渡邊タミ子. 改正カリキュラム導入後の小児看護学病棟実習における看護学生の達

- 成感に関する分析. 新大医紀要. 2012 ; 10(2) : 1-10.
19. 成田太一, 征矢野あや子, 横川吉晴. 保健事業に参加する地域在住高齢者へ行った認知症スクリーニング検査 (RDST-J) の実態とその関連要因. 信州公衆衛生雑誌. 2011 ; 5(2) : 97-103.
  20. 奥野ひろみ, 五十嵐久人, 成田太一, 他. 長野県内市町村保健センターにおける在日外国人母子への支援に関する研究. 小児保健研究. 2012 ; 71 (4) : 518-525.
  21. Michio Miyasaka, Sayuri Sakai, Mio Tanaka, Jun Kikunaga : Use of Brain-Machine Interfaces as Prosthetic Devices: An Ethical Analysis, Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine ,No.6, pp.29-38-, August 2012.

## 学会発表および研究会発表

1. 青木萩子, 成澤幸子, 齋藤君枝 : グループホーム入居者のワンダリング関連行動と気象との関連, 第16回日本在宅ケア学会学術集会, 2012. 03. 18. 東京.
2. 青木萩子, 成澤幸子, 齋藤君枝 : グループホームに居住する認知症高齢男性のwandering関連行動と季節の検討, 第27回日本老年精神医学会, 2012. 06. 21. 大宮.
3. 笠原英里子, 青木萩子 : 2型糖尿病をもつ壮年期女性患者の閉経と自己管理の関連性について, 第6回日本慢性看護学会学術集会, 2012. 06. 30. 浜松.
4. 内山美枝子 : 若年性乳がん女性の患者役割と性役割における葛藤構造, 第26回日本がん看護学会学術集会, 2012. 2 (松江市)
5. 内山美枝子 : 若年性乳がん女性の患者役割と性役割における支援者の認識構造, 第26回日本がん看護学会学術集会, 2012. 2 (松江市)
6. 内山美枝子, 田中美央, 井越寿美子, 佐藤富貴子 : , ‘気づく’ に着目した新人研修後の臨床実践における効果, 第16回日本看護管理学会, 2012. 8 (札幌市)
7. Mieko Uchiyama, Yongbum Lee, Du-Yih Tsai, Kiyoko Kazama, Yasuko Minagawa, Mieko Sadakata, Mitsuko Sayama : Quantitative assessment of muscle activity in mammography positioning, XX IMEKO World Congress, 2012.9 (Busan, Korea)
8. 李鎔範, 内山美枝子, 風間清子, 皆川靖子, 蔡篤儀, 弦巻正樹, 定方美恵子, 佐山光子 : 表面筋電図測定によるマンモグラフィ被検者の身的負荷の定量評価, 10.医用画像情報学会 平成24年度秋季 (第164回) 大会, 2012.10 (仙台市)
9. 内山美枝子, 細野 舞, 李鎔範 : マンモグラフィの経験がポジショニングの同定時間と苦痛に及ぼす影響, 第22回日本乳癌検診学会学術総会, 2012.11 (宜野湾市)
10. 菊永 淳, 坂井さゆり : がん告知に関わる看護師のジレンマに関する文献検討, 第26回日本がん看護学会学術集会, 日本がん看護学会, 2012.2 (島根)
11. 本間祐美子, 小林恵子, 北川公子. 積雪地域に暮らす高齢パーキンソン病患者の生活機能にみられる季節差. 第16回日本在宅ケア学会学術集会. 2012.3. (東京).
12. 小山洋恵, 小林恵子, 北川公子. 脳血管疾患をもつ高齢患者に医療者が提供した退院支援とプライマリナーが把握した退院先の意向の検討. 第16回日本在宅ケア学会学術集会. 2012.3. (東京).
13. 平澤則子, 飯吉令枝, 小林恵子, 藤川あや, 小林奈緒子. 豪雪過疎地域において地域リーダーの高齢者見守り活動が介護予防に果たす役割. 日本ルーラルナーシング学会第7回学術集会. 2012.9. (駒ヶ根).
14. 藤川あや, 平澤則子, 飯吉令枝, 小林恵子, 小林奈緒子. 豪雪過疎地域における介護予防のための高齢者同士の見守り活動の強みと弱み. 日本ルーラルナーシング学会第7回学術集会. 2012.9. (駒ヶ根).
15. 飯吉令枝, 平澤則子, 藤川あや, 小林恵子. 豪雪過疎地域で高齢者を見守る専門職と住民の介護予防のための見守り項目. 第71回日本公衆衛生学会総会. 2012.10. (山口)
16. 宇田優子, 成田太一, 小林恵子. 地域包括支援センターにおける災害対策の実態. 第71回日本公衆衛生学会総会. 2012.10. (山口)

17. 小林恵子. 支援が必要な親子への保健師の支援技術ー「場面の再構成」の研修からー. 日本子ども虐待防止学会第18回学術集会 高知りょうま大会. 2012.12. (高知)
18. 齋藤君枝, 青木萩子, 後藤雅博, 藤原直士, 富山智香子, 岩佐有華. 平成16年中越地震後応急仮設住宅に居住し帰村した高齢者の体力と生活満足度の継続評価. 第82回日本衛生学会学術総会. 京都. 平成24年3月.
19. 谷内田潤子, 齋藤君枝, 布施克也, 大橋麻紀, 大淵雄子, 笠井昭男, 上村伯人. 通院中断した壮年期2型糖尿病男性患者の特性の検討. 第82回日本糖尿病学会. 神奈川. 平成24年5月.
20. 儀同真由美, 齋藤君枝, 青木萩子, 村松芳幸. 看護師のDNRに対する葛藤とターミナルケア態度, ストレスの関連. 第6回日本慢性看護学会. 静岡. 平成24年5月.
21. 齋藤君枝, 青木萩子, 岩佐有華, 藤原直士. 応急仮設住宅で生活した中越地震高齢被災者の体組成と体力変化. 第14回日本災害看護学会学術集会. 愛知. 平成24年7月.
22. 長谷川郁, 武樋睦美, 齋藤君枝, 戸川紀子, 佐藤富貴子. 測定用具を活用した卒後2年目看護師の支援. 平成24年度新潟県看護協会看護学会. 新潟. 平成24年11月.
23. 齋藤君枝, 青木萩子, 藤原直士. 応急仮設住宅に居住する避難者の睡眠と活動状態ーアクティグラフによる評価ー. 第28回日本ストレス学会学術総会. 札幌. 平成24年11月.
24. 桐生郁恵, 山田淳子, 齋藤智子, 他. 食育推進計画策定に向けた住民の食育に関する意識調査. 第71回日本公衆衛生学会総会. 2012.10. (山口)
25. 飯田裕子, 坂井さゆり: がん看護における「ユーモア」に関する文献検討. 第26回日本がん看護学会学術集会 2012.2. 島根
26. 坂井さゆり: 看護学性への緩和ケア教育ー効果的な教授法ー. 第17回日本緩和医療学会学術集会ワークショップ. 2012.6. 神戸
27. 坂井さゆり: 平成24年度基盤研究 (B)「世俗化する欧州社会における看取りの思想的な拠り所の究明」(代表者: 静岡大学竹之内裕文) 研究会. 2012.6. 静岡
28. 桑原 梓, 星野尚子, 坂井さゆり: 看護記録からみた老年期にある熱傷患者に対する看護の現状と課題ー看護指標の開発に向けた試案の作成ー. 第43回日本看護学会抄録集 老年看護. 2012.9. 広島
29. 坂井さゆり, 宮坂道夫, 菊永淳: 臨床倫理の前提となる「Caring based Medicine」の検討, 第31回日本医学哲学・倫理学会大会, 日本医学哲学・倫理学会, 2012.11. 金沢
30. 坂井さゆり: 臨床倫理の方法論の再検討ー理論的基盤と臨床実践とを統合する新しい医療倫理学の方法論についての研究ー「臨床での実際の倫理討議への適用」. 第31回日本医学・哲学倫理学会大会ワークショップ. 2012.11. 金沢
31. 大西香穂里, 坂井さゆり: がん看護熟練看護師の語りにもみる臨死期ケアの適応過程と卓越性. 第18回日本臨床死生学会大会. 2012.11. 東京
32. 草島悦子, 河 正子, 坂井さゆり, 森田達也: 自立や自分らしさが損なわれることによる苦悩: 終末期がんと患者へのスピリチュアルケア. 第18回日本臨床死生学会大会. 2012.11. 東京
33. 中澤紀代子, 定方美恵子, 佐山光子: 死産で子どもを亡くした母親と家族をケアする助産師の体験ー母親の胎内で生きていた子どもとして迎えるケアー. 第52回日本母性衛生学会学術集会, 2012, 11. (福岡市)
34. 中澤紀代子, 定方美恵子, 佐山光子: 死産で子どもを亡くした母親と家族をケアする助産師の体験ー母親の胎内で生きていた子どもとして迎えるケアー. 新潟県母性衛生学会学術集会, 2012, 11. (新潟市)
35. 林 浩美, 佐山光子, 定方美恵子: 母親は思春期の子供の変化のプロセスをどのように経験しているか. 新潟県母性衛生学会学術集会, 2012, 11. (新潟市)
36. 佐山光子, 関島香代子, 定方美恵子, 西方真弓, 佐藤 悦, 石田真由美, 佐竹直子: 母子と家族のための災害への備え「子育て防災支援士」の養成と活動. 日本災害看護学会, 2012, 7. (名古屋市)
37. 吉森容子, 佐山光子, 関島香代子: 性教育の授業を受けている中学3年生がその場で体験している内的世界. 第39回新潟県母性衛生学会学術集会, 2012, 11. (新潟市)
38. 清水詩子, 齋藤翔太, 凌 一葦 他.: 腎代替療法の構成の違いに基づく費用対効果の比較. 第32回医療情報学連合大会 (新潟市), 2012年11月.

39. 池田義之, 神田達夫, 小杉伸一, 石川 卓, 矢島和人, **鈴木 力**, 畠山勝義. 肝硬変併存胃癌に対する胃切除例の実態と予後について. 第84回 日本胃癌学会総会 2012.02.09. 大阪
40. 池田義之, 矢島和人, 神田達夫, 石川 卓, 小杉伸一, **鈴木 力**, 畠山勝義. 慢性透析患者の胃癌に対する胃切除術の実態と予後について. 第112回 日本外科学会定期学術集会 2012.04.14. 千葉.
41. 石川 卓, 神田達夫, 矢島和人, 佐藤 優, 若井淳宏, 坂本 薫, 小杉伸一, **鈴木 力**, 畠山勝義. 噴門側胃切除術の術後QOLを中心とした長期成績. 第67回 日本消化器外科学会総会 2012.07.18. 富山.
42. Sato Y, Kosugi S, Kanda T, Kakuta T, Sakamoto K, Ishikawa T, Yajima K, Sasamoto R, Suzuki T, Hatakeyama K. Long-term survival after chemoradiotherapy for superficial small cell carcinoma of the esophagus: A case report. 13th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus. 2012.10.16. Venice, Italy.
43. Kosugi S, Kanda T, Yajima K, Ishikawa T, Suzuki T, Hatakeyama K. Risk factors associated with the supraclavicular node metastasis in patients with submucosal carcinoma of the thoracic esophagus. 13th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus. 2012.10.17. Venice, Italy.
44. Yajima K, Kanda T, Kosugi S, Usui K, Sato Y, Sakamoto K, Ishikawa T, Ajioka Y, Suzuki T, Hatakeyama K. Patient prognosis and distribution of lymph node metastasis in Japanese Patients with Barrett's adenocarcinoma: Comparison with adenocarcinoma and squamous cell carcinoma of the esophagogastric junction. 13th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus. 2012.10.18. Venice, Italy.
45. 石川 卓, 神田達夫, 矢島和人, 佐藤 優, 角田知行, 坂本 薫, 小杉伸一, **鈴木 力**. 糖尿病患者に対する胃癌手術の周術期管理. 第42回 胃外科・術後障害研究会 2012.11.15. 東京.
46. 大溪隆弘, 石川 卓, 神田達夫, 佐藤 優, 角田知行, 坂本 薫, 矢島和人, 小杉伸一, **鈴木 力**. 胃切除後逆流性食道炎に対する分流手術8例の検討. 第42回 胃外科・術後障害研究会 2012.11.15. 東京.
47. Akinori Toguchi, Hayata Wakiuchi, Hitoshi Sasaki, Tomoko Sumiyoshi, Akira Okazaki, Kazunori Mizuno. Development of A Foods Information Service System For Parent Of A Childhood Cancer Patient, The Clute Institute International Academic Conferences (Bangkok), 24-25 (March), 2012.
48. 飯田純子, **住吉智子**. 小児がん経験者の闘病体験の実態と認識. 日本小児看護学会第22回学術集会, 7/21-22. 2012. (岩手)
49. **住吉智子**, 田中美央, 岡崎 章. 小児がん患児と家族のための食支援モバイル型携帯サイト 'Gohan Navi' の開発と評価. 日本小児看護学会第22回学術集会, 7/21-22. 2012. (岩手)
50. **住吉智子**, 田中美央, 渡邊タミ子. 保育所側が求める保育所看護師等への期待に関する実態調査 -保育士と看護師との協働に向けて-. 日本小児看護学会第22回学術集会, 7/21-22. 2012. (岩手)
51. 飯田純子, **住吉智子**. 小児がん経験者の闘病体験とレジリエンスとの関連性. 日本小児がん看護学会第10回小児がん看護学会. 11/30. 2012 (横浜)
52. 田中美央, 内山美枝子, 井越寿美子, 佐藤富貴子: 気づくに着目した新人研修における教育担当者自身の '気づき', 第16回日本看護管理学会, 2012.8 (札幌市)
53. 成田太一, 山崎洋子. 在宅精神障害者が捉える市町村保健師の支援. 第15回日本地域看護学会学術集会. 2012.7 (東京)
54. Nishihara, A., Sayama, M., Suzuki, T., "Creating Community of Practice within GSH - Gender-Specific/Gender sensitive Health Promotion," The Proceedings of the 2nd Global Congress for Qualitative Health Research, p.222. 18 Jun, 2012. Milano, Italy.
55. 小野真太郎, 那須史明, **松本 裕**, 他. Inhibitory effect of Ascorbic Acid to ischemia/reperfusion injury at isolated rat heart. 第85回 日本薬理学会年会 (京都) 2012年3月
56. 那須史明, 小野真太郎, **松本 裕**, 他. Protective effect of piceatannol on a myocardial ischemia-reperfusion injury. 第85回 日本薬理学会年会 (京都) 2012年3月
57. **松本 裕**, 西原亜矢子. 看護の現場における夜間巡視用ライトのニーズ調査. 第15回 北日本看護学会 (宮城) 2012年9月
58. 那須史明, 小野真太郎, **松本 裕**, 他. 心筋虚血再灌流障害に対するpiceatannolの保護効果. 第19回 日本未

病システム学会 (金沢) 2012年10月

59. 松本 裕, 西原亜矢子. 夜間巡視用ライトの重要性と今後の課題. 第2回 基礎科学を元にしたCo-Medical研究会 (山形) 2012年11月
60. 那須史明, 小野真太郎, 松本 裕, 他. 心筋虚血再灌流障害に対するピセアタンノールの保護効果. 第2回 基礎科学を元にしたCo-Medical研究会 (山形) 2012年11月
61. 宮坂道夫, 坂井さゆり, 菊永 淳: 認知症とがんとをともに患う患者のケアについての倫理的検討, 第31回日本医学哲学・倫理学会大会, 日本医学哲学・倫理学会, 2012.11. 金沢

## 放射線技術科学専攻

### 著書および学術論文

1. 石川和宏, 岡本浩一郎: 外傷性くも膜下出血. すぐ役立つ救急のCT・MRI, 井田正博, 高木 亮, 藤田安彦 (編), 学研メディカル秀潤社, 東京, 2012, p.62-63.
2. 石川和宏, 岡本浩一郎: 急性硬膜下血腫. すぐ役立つ救急のCT・MRI, 井田正博, 高木 亮, 藤田安彦 (編), 学研メディカル秀潤社, 東京, 2012, p.64-65.
3. 石川和宏, 岡本浩一郎: 急性硬膜外血腫. すぐ役立つ救急のCT・MRI, 井田正博, 高木 亮, 藤田安彦 (編), 学研メディカル秀潤社, 東京, 2012, p.66-67.
4. 金沢 勉, 内藤健一, 斉藤宏明, 粥川啓廣, 岩崎友也, 大久保真樹, 木村元政: 脳動脈瘤クリップにおける磁化率アーチファクトの角度依存性の検討. 日本放射線技術学会東北部会雑誌, 21: 86-89, 2012.
5. Funaki A, Ohkubo M, Wada S, Murao K, Matsumoto T, Niizuma S: Application of CT-PSF-based computer-simulated lung nodules for evaluating the accuracy of computer-aided volumetry. Radiological Physics and Technology, 5(2): 166-171, 2012.
6. 山田昌法, 大久保真樹, 粥川啓廣, 山田宏美, 松浦将孝, 三浦 貴, 楠本敏久: 放射線治療における位置照合の容易化を目的としたEPIDポータル画像の周波数処理に関する検討. 日本放射線技術学会雑誌, 68(5): 593-601, 2012.
7. Ohno K, Ohkubo M, Marasinghe J C, Murao K, Matsumoto T, Wada S: Accuracy of lung nodule density on HRCT: analysis by PSF-based image simulation. Journal of Applied Clinical Medical Physics, 13(6): 277-292, 2012.
8. Marasinghe J C, Ohkubo M, Kobayashi H, Murao K, Matsumoto T, Niizuma S, Sone S, Wada S: Application of PSF-based Virtual Nodules to Assess the Performance of Lung Cancer CT Screening CAD System. Proceedings of 12th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, p.249-252, 2012.
9. Kobayashi K, Sakamoto M, Hosseini A, Rubash HE, Li G: In-vivo patellar tendon kinematics during weight-bearing deep knee flexion, J. Orthop. Res., 30, 1596-1603, 2012.
10. Tanifuji O, Sato T, Kobayashi K, Mochizuki T, Koga Y, Yamagiwa H, Omori G, Endo N: Three-dimensional in vivo motion analysis of normal knees employing transepicondylar axis as an evaluation parameter, Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc., 2012, DOI 10.1007/s00167-012-2010-x.
11. Takahashi N, Lee Y, Tsai DY, Kinoshita T, Ouchi N, Ishii K: Computer-aided detection scheme for identification of hypoattenuation of acute stroke in unenhanced CT. Radiological Physics and Technology, vol.5, no.1, pp.98-104, 2012.
12. 渡部晴之, 蔡篤儀, 李鎔範, 松山江里, 小島克之: 複合型Wavelet変換を用いたデジタル医用X線画像の画質改善. 電子情報通信学会技術研究報告(MI2011-126), vol.111, no.389, pp.269-274, 2012.
13. Lee Y, Takahashi N, Tsai DY: Computer-Aided Diagnosis for Acute Stroke in CT Images. Computed Tomography - Clinical Applications. Luca Saba (Ed.), InTech, January 2012. Chapter.1, p.3-28. ISBN: 978-953-307-378-1, Available from www.intechweb.org.

14. Lee Y, Tsai DY, Hokari H, Minagawa Y, Tsurumaki M, Hara T, Fujita H: Computerized detection of lung nodules by CT for radiologic technologists in preliminary screening. *Radiological Physics and Technology*, vol.5, no.2, pp.123-128, 2012.
15. Matsuyama E, Tsai DY, Lee Y, Watanabe H, Kojima K: A method mammographic image denoising based on hierarchical correlations of the coefficients of wavelet transforms. *IFMBE proceedings (Proc. of World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering)*, vol.39, pp.872-875, Beijing, China, May 26-31, 2012.
16. Watanabe H, Tsai DY, Lee Y, Matsuyama E, Kojima K: Efficacy of a combined wavelet shrinkage method for low-dose and high-quality digital radiography. *IFMBE proceedings (Proc. of World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering)*, vol.39, pp.888-891, Beijing, China, May 26-31, 2012.
17. Uchiyama M, Lee Y, Sadakata M, Sayama M, Tsai DY: Measurement of muscle activities for evaluating physical burden and pain during mammography positioning. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*, vol.228, no.1, pp.53-58, 2012.
18. Uchiyama M, Lee Y, Tsai DY, Kazama K, Minagawa Y, Sadakata M, Sayama M: Quantitative assessment of muscle activity in mammography positioning. *Proc. of XX IMEKO World Congress, TC13-P-1 (338)*, pp.1-4, Busan, Republic of Korea, Sept. 9-14, 2012.
19. Watanabe H, Tsai DY, Lee Y, Matsuyama E, Kojima K: Improvement of image quality and radiation dose reduction in digital radiography using an integrated wavelet-transform-based method. *Proc. of XX IMEKO World Congress, TC13-P-2(342)*, pp.1-4, Busan, Republic of Korea, Sept. 9-14, 2012.
20. Matsuyama E, Tsai DY, Lee Y, Watanabe H, Tsurumaki M, Kojima K: Improving image quality of digital mammographic images using an undecimated discrete wavelet transform method: performance assessment. *Proc. of XX IMEKO World Congress, TC13-P-3(344)*, pp.1-4, Busan, Republic of Korea, Sept. 9-14, 2012.
21. 李鎔範: 実践医用画像解析ハンドブック. 石田隆之, 桂川茂彦, 藤田広志 (監). オーム社. 東京. 2012.11. 分担執筆: 第2章3.2節 画像の変形 pp.131-136, 付録B pp.768-785. ISBN: 978-4274212826.
22. 高橋規之, 李鎔範, 蔡篤儀, 木下俊文, 石井 清: 単純CT画像における適応型エッジ保存フィルタによる急性期脳梗塞の検出能向上. *Medical Imaging Technology*, vol.30, no.5, pp.231-235, 2012.
23. Saito M: Potential of dual-energy subtraction for converting CT numbers to electron density based on a single linear relationship. *Med. Phys.*, 39: 2021-2030, 2012.
24. Matsunaga S, Koishi T, Saito M, Tamaki S: Dielectric Screening Properties and Many Body Effects in Molten Salts Noble metals, edited by Yen-Hsun Su, InTech - Open Access Publisher, Chapter 1, 3-32, 2012.
25. 坂本 信, 吉田秀義, 小林公一, 長田郁美, 風間清子, 川上健作: MRIを用いた膝蓋腱長さ変化の生体内解析. *臨床バイオメカニクス*, 33: 81-87, 2012.
26. 山岸英太, 佐藤 光, 田邊裕治, 菊池達哉, 坂本 信, 小林公一, 古賀良生: 透過型近赤外線分光法によるヒト関節軟骨含水率の定量的評価. *臨床バイオメカニクス*, 33: 13-17, 2012.
27. 坂本 信: MRIによる関節接触領域の測定. よくわかる実験技術・学術用語 第2版, 日本実験力学会出版: 13-16, 2012.
28. 坂本 信: 応力・ひずみ解析の活動報告と今後の展望. *非破壊検査*, 61, 370-375, 2012.
29. Sakai HS, Sakai J, Sakamoto M, Endo H: Determination of fracture toughness of human permanent and primary enamel using an indentation microfracture method. *Journal of Materials Science Materials in Medicine*, 23: 2047-2054, 2012.
30. 足利広行, 関谷 勝, 加藤裕之, 他6名: 「CTCの前処置」～悩んでないでここで解決～ -CT Colonography 検査における前処置について(2)-, *日本消化器画像診断情報研究会誌*25(2), 68-71, 2012.1
31. 関谷 勝, 吉田秀義, 福島第一原子力発電所事故の対応について考える - 線量限度の上方変更 -, *新潟県放射線技師会々報 (76)*, B6-B13, 2012.
32. 関谷 勝: 食品等に含まれる放射性物質の規制値について-放射性セシウムに対する新基準値の取扱い-, *新潟県放射線技師会々報 (76)*, B14-B19, 2012.

33. 佐藤貴幸, 高橋俊博, 竹原和宏, 渡辺賢一, 張馬梅蓄, 吉田秀義, 柴田香織, 酒井春香, 堀之内隆也, 久保田浩平, V. Sukumaran, R. Thadavarayan, A. P. Lakshmanan, S. Arumugam, V. Pitchaimani, F. Sari, V. Soetikno, 笠原裕之, 田沢周作 : 標識脂肪酸を用いた心機能改善薬の薬効評価 : 第132回 日本薬学会 要旨集 vol.4, 144 (2012)
34. 高橋直也 : 概説「死後変化」とは何か? 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 2-3.
35. 高橋直也, 広瀬保夫 : 1. 心臓・大動脈変化 心・大血管の死後変化. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 4-5.
36. 高橋直也, 広瀬保夫, 橋立英樹 : 2. 脳浮腫 死亡直後の脳浮腫. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 6-7.
37. 高橋直也, 池野観寿, 阿部時也, 広瀬保夫, 渋谷宏行 : 2. 脳浮腫 生前の低酸素脳症による脳浮腫. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 8-9.
38. 高橋直也, 広瀬保夫, 米山 靖 : 3. 血液就下/血液凝固 血管内の血液就下. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 10-11.
39. 高橋直也, 広瀬保夫, 渋谷宏行, 三間紘子 : 3. 血液就下/血液凝固 頭部の血液就下. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 12.
40. 高橋直也, 広瀬保夫, 山内春夫, 高塚尚和, 舟山一寿 : 3. 血液就下/血液凝固 乳幼児における頭部の血液就下. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 13.
41. 高橋直也, 広瀬保夫, 橋立英樹 : 3. 血液就下/血液凝固 肺の血液就下. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 14.
42. 高橋直也, 矢部正浩, 橋立英樹 : 3. 血液就下/血液凝固 慢性疾患 (両側細菌性肺炎) による鋳型状の血液凝固. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 15.
43. 高橋直也 : 概説「蘇生術後変化」とは何か? 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 22-23.
44. 高橋直也, 広瀬保夫, 橋立英樹 : 2. 肋骨骨折 肋骨骨折, 気胸. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 26-27.
45. 高橋直也, 広瀬保夫, 山内春夫, 高塚尚和, 舟山一寿 : 2. 肋骨骨折 胸骨圧迫による肋骨骨折, 外傷による肋骨骨折. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 28.
46. 高橋直也, 広瀬保夫, 渋谷宏行, 三間紘子 : 3. その他の所見 胸骨圧迫による心嚢破裂. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 29.
47. 高橋直也, 広瀬保夫, 橋立英樹 : 食道総頸動脈瘻 (食道がん化学放射線療法後) 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 37.
48. 高橋直也, 広瀬保夫, 山内春夫, 高塚尚和, 舟山一寿 : 心嚢血腫 (急性心筋梗塞による心破裂). 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 52.
49. 高橋直也, 広瀬保夫, 渋谷宏行, 佐藤誠一 : 心筋梗塞, 冠動脈起始異常. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. 高橋直也, 塩谷清司 (編) ベクトル・コア 2012, 53.
50. 高橋直也, 広瀬保夫, 渋谷宏行 : ミトコンドリア脳筋症. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 56.
51. 高橋直也, 広瀬保夫, 橋立英樹 : 肺炎, 肺血栓塞栓症. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 58.
52. 高橋直也, 広瀬保夫, 山内春夫, 高塚尚和, 舟山一寿 : 肺血栓塞栓症. 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 58.

53. 高塚尚和, 高橋直也, 舟山一寿, 山内春夫: 児童虐待 (眼窩部を踏まれる). 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 117.
54. 高塚尚和, 高橋直也, 舟山一寿, 山内春夫: 児童虐待 (陰部の損傷). 高橋直也, 塩谷清司 (編) オートプシー・イメージング (Ai) 症例集. ベクトル・コア 2012, 118.
55. 高橋直也: 職務として携わる人々から見たAiとは (役割と問題点). 1放射線科医. 今井 裕, 高野英行, 山本正二 (編) オートプシー・イメージング ガイドライン 第2版 ベクトル・コア 2012, 7.
56. 高橋直也: 救急搬送症例に対するAi実施の流れ. 今井 裕, 高野英行, 山本正二 (編) オートプシー・イメージング ガイドライン 第2版 ベクトル・コア 2012, 36-37
57. 塩谷清司, 高橋直也 ほか: 死後CTで特定できる死因と特定が困難な死因. 今井 裕, 高野英行, 山本正二 (編) オートプシー・イメージング ガイドライン 第2版 ベクトル・コア 2012, 49-53.
58. 塩谷清司, 高橋直也 ほか: 死後CT上の蘇生術後変化と死後変化. 今井 裕, 高野英行, 山本正二 (編) オートプシー・イメージング ガイドライン 第2版 ベクトル・コア 2012, 54-58.
59. 高橋直也: 読影チェックシートの使い方. 今井 裕, 高野英行, 山本正二 (編) オートプシー・イメージング ガイドライン 第2版 ベクトル・コア 2012, 75-78.
60. 高橋直也: Aiを実施している施設. 新潟市民病院. 今井 裕, 高野英行, 山本正二 (編) オートプシー・イメージング ガイドライン 第2版 ベクトル・コア 2012. 112.
61. Takahashi N, Higuchi T, Hirose Y, Yamanouchi H, Takatsuka H, Funayama K. Changes in aortic shape and diameters after death: Comparison of early postmortem computed tomography with antemortem computed tomography. *Forensic Sci Int* 2013, 225:27-31.
62. Takahashi N, Higuchi T, Shiotani M, Hirose Y, Shibuya H, Yamanouchi H, Hashidate H, Funayama K. The effectiveness of postmortem multidetector computed tomography in the detection of fatal findings related to cause of non-traumatic death in the emergency department. *Eur Radiol.* 2012, 22(1):152-160.
63. 高橋直也, 樋口健史, 木口貴雄, 広瀬保夫, 山内春夫, 高塚尚和, 舟山一寿: 交通事故死者の損傷部位と重症度評価における死後CTの有用性. *交通科学協議会誌*, 2012, 12(1):22-28.
64. Gutty R, Brogdon G, Dedouit F, Grabherr S, Hatch GM, Jackowski C, Leth P, Persson A, Ruder TD, Shiotani S, Takahashi N, Thali MJ, Woźniak K, Yen K, Morgan B. Terminology used in publications for post-mortem cross-sectional imaging. *Int J Legal Med* 2013, 127(2):465-466.
65. Shiotani M, Higuchi T, Yoshimura N, Kiguchi T, Takahashi N, Maeda H, Aoyama H. The sternalis muscle: radiologic findings on MDCT. *Jpn J Radiol.* 2012, 30(9):729-34.
66. Higuchi T, Takahashi N, Shiotani M, Sato S, Ohta A, Maeda H, Nakajima H, Itoh K, Tsukada H: Main bronchial diverticula in the subcarinal region: their relation to airflow limitations. *Acta Radiol.* 2012, 53:44-8.
67. 高橋直也: 死後CTあれこれ症例集 4 死後CT症例 3: 新潟市民病院編. *臨床画像*. 28: 961-965, 2012
68. 高橋直也: オートプシー・イメージング (Ai) -社会的要求への対応と課題-Iプロローグ: 死因不明社会からの決別に向けて2. Aiに求められる画像診断とは. *インナービジョン*. 27: 8-11, 2012
69. 高橋直也: オートプシー・イメージング (Ai) -第二弾: 普及の実態と適応の拡大-I死因不明社会からの決別に向けた歩み2. 再びAiに求められる画像診断とは -新しい知見と診断基準の確立. *インナービジョン*. 28: 6-9, 2013
70. 高橋直也: 今必要なAi (オートプシー・イメージングの知識) 救急現場でのAiの活用. *NLだより*. 422: 2, 2013
71. 高橋直也: 死亡時CT (Ai-CT) 診断用チェックシートの活用. Ai学会第95回1000字提言. 2012. [http://plaza.umin.ac.jp/~ai-ai/reading/proposal/proposal\\_95.php](http://plaza.umin.ac.jp/~ai-ai/reading/proposal/proposal_95.php)
72. 早川岳英, 山田 巧, 坂井裕則, 笠原敏文, 井上富夫, 宮川道夫: 矩形照射野のファントム散乱係数Spの推定, *日本放射線技術学会雑誌*, 68(1), 15-29, 2012.

## 学会発表および研究会発表

1. 羽根田淳, 岡本浩一郎, **石川和宏**, 淡路正則, 八木琢也, 稲川正一, 青山英史: 成人に発症し孤発性で症状を呈した眼窩部の Langerhans Cell Histiocytosis の2例. 第41回日本神経放射線学会, 2012.2.2~2.3(志摩).
2. **和田真一**, **大久保真樹**, 舟木 歩, 村尾晃平, 松本 徹, 曾根脩輔: 肺内結節検出用CT-CADの性能検証法の研究—virtual noduleを用いた検討. 第19回日本CT検診学会学術集会, 2012.02.17-18 (長野), CT検診, 19(1): 13, 2012.
3. **和田真一**, **大久保真樹**, 小林 元, Chathari M Munaweera, 村尾晃平, 松本 徹, 曾根脩輔: 肺内結節検出CADシステムの性能評価法の研究—virtual noduleを用いた検討. 日本医学物理学会第103回学術大会, 2012.04.12-15 (横浜), 日本医学物理学会機関誌, 32(1): 123, 2012.
4. 金沢 勉, 内藤健一, 斉藤宏明, 粥川啓廣, 岩崎友也, **大久保真樹**, 木村元政: 脳動脈瘤クリップの静磁場方向に対する角度が磁化率アーチファクトに及ぼす影響. 日本放射線技術学会第68回総会学術大会, 2012.04.12-15 (横浜), 日本放射線技術学会第68回総会学術大会予稿集, p.125.
5. 内藤健一, 金沢 勉, 斉藤宏明, **大久保真樹**, 木村元政, 高野 徹: Phase sensitive inversion recovery (PSIR) 法の肝臓EOB検査への応用に関する検討. 日本放射線技術学会第68回総会学術大会, 2012.04.12-16(横浜), 日本放射線技術学会第68回総会学術大会予稿集, p.139-140.
6. Marasinghe J C, Ohkubo M, Kobayashi H, Matsumoto T, Niizuma S, Sone S, **Wada S**: Performance assessment of CAD for lung cancer CT screening by applying PSF-based virtual nodules: influence on slice thickness and nodule density. 日本医学物理学会第104回学術大会, 2012.09.13-15 (つくば), 日本医学物理学会機関誌, 32(3): 139-140.
7. 小林 元, **大久保真樹**, Marasinghe J C, 松本 徹, 曾根脩輔, **和田真一**: PSF-CT画像シミュレーションと胸部CT検診画像の融合を用いたCAD性能評価の研究. 日本医学物理学会第104回学術大会, 2012.09.13-15 (つくば), 日本医学物理学会機関誌, 32(3): 141-142.
8. 押野見拓哉, 松岡皓之, 渋谷直樹, 田中智大, **山崎芳裕**, **大久保真樹**, 内藤健一, 粥川啓廣, 山賀敏彦: 201TI心筋シンチグラフィにおける1ピークと2ピーク収集の比較検討について. 日本核医学技術学会第18回東北地方会総会学術大会, 2012.9.22-23 (新潟), 日本核医学技術学会第18回東北地方会総会学術大会プログラム・抄録集, p.16.
9. 内藤健一, 金沢 勉, 斉藤宏明, **大久保真樹**, 木村元政, 高野 徹: Phase sensitive inversion recovery (PSIR) 法の肝臓EOB検査の有用性. 日本放射線技術学会第40回秋季学術大会, 2012.10.04-06 (東京), 日本放射線技術学会雑誌68(9): 1176-1177.
10. Marasinghe J C, Ohkubo M, Kobayashi H, Murao K, Matsumoto T, Niisuma S, Sone S, **Wada S**: Application of PSF-based Virtual Nodules to Assess the Performance of Lung Cancer CT Screening CAD System. 10th South-East Asian Congress of Medical Physics (10th SEACOMP), 12th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (12th AOCMP), 2012.12.11-14 (Thailand) .
11. **小林公一**, **坂本 信**, 豊田貴嗣, 田邊裕治, 川上健作: イメージマッチングによる膝関節接触状態評価法の実験的検証: CT骨モデルとMRI骨モデルの比較, 日本非破壊検査協会春季講演大会, 145-146, 2012, 東京.
12. **小林公一**, **坂本 信**, 田邊裕治: イメージレジストレーションによる膝関節接触機構評価法の実験的検証, 日本機械学会2012年度年次大会, S022026, 2012, 金沢.
13. **小林公一**, **坂本 信**, 川上健作: 皮膚マーカと大腿骨および脛骨との相対誤差評価, 日本非破壊検査協会秋季講演大会, 101-104, 2012, 東京.
14. 谷藤 理, 佐藤 卓, **小林公一**, 有海明央, 望月友晴, 村山敬之, 山際浩史, 渡辺聡, 大森 豪, 古賀良生: 2D/3D image registration techniqueによる下肢アライメント・膝運動解析, 第39回日本臨床バイオメカニクス学会, 61, 2012, 幕張.
15. 中部 昇, 古賀良生, **小林公一**, **坂本 信**, 遠藤直人, 湊 泉, 田邊裕治, 大森 豪, 落合清秀: 3次元下肢アライメント評価法を基にした人工股関節設置位置支援法の開発, 第39回日本股関節学会学術集会,

- 488, 2012, 新潟.
16. 小林公一, 古賀良生, 坂本 信, 遠藤直人, 湊 泉, 田邊裕治, 大森 豪, 中部 昇, 落合清秀: 形状モデル不使用人工股関節術前計画・手術支援操作法の開発ー2方向連続CR撮影による精度検証ー, 第39回日本股関節学会学術集会, 489, 2012, 新潟.
  17. 渡部晴之, 蔡篤儀, 李鎔範, 松山江里, 小島克之: 複合型Wavelet変換を用いたデジタル医用X線画像の画質改善. 電子情報通信学会医用画像研究会, 2012.1.19-20 (那覇).
  18. Matsuyama E, Tsai DY, Lee Y, Watanabe H, Kojima K: A method mammographic image denoising based on hierarchical correlations of the coefficients of wavelet transforms. IFMBE (International Federation for Medical and Biological Engineering) World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering, Beijing, China, May 26-31, 2012.
  19. Watanabe H, Tsai DY, Lee Y, Matsuyama E, Kojima K: Efficacy of a combined wavelet shrinkage method for low-dose and high-quality digital radiography. IFMBE (International Federation for Medical and Biological Engineering) World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering, Beijing, China, May 26-31, 2012.
  20. Uchiyama M, Lee Y, Tsai DY, Kazama K, Minagawa Y, Sadakata M, Sayama M: Quantitative assessment of muscle activity in mammography positioning. XX IMEKO World Congress, Busan, Republic of Korea, Sept. 9-14, 2012.
  21. Watanabe H, Tsai DY, Lee Y, Matsuyama E, Kojima K: Improvement of image quality and radiation dose reduction in digital radiography using an integrated wavelet-transform-based method. XX IMEKO World Congress, Busan, Republic of Korea, Sept. 9-14, 2012.
  22. Matsuyama E, Tsai DY, Lee Y, Watanabe H, Tsurumaki M, Kojima K: Improving image quality of digital mammographic images using an undecimated discrete wavelet transform method: performance assessment. XX IMEKO World Congress, Busan, Republic of Korea, Sept. 9-14, 2012.
  23. 吉田悠理子, 李鎔範, 蔡篤儀: 胸部単純X線画像におけるポータブルCADの試作. 日本放射線技術学会第40回秋季学術大会, 2012.10.4-6 (東京).
  24. 高橋規之, 李鎔範, 蔡篤儀, 木下俊文, 伊藤道明, 工藤 泰, 石井 清: 単純CT画像における急性期脳梗塞のMCA dot signの自動検出法の開発. 日本放射線技術学会第40回秋季学術大会, 2012.10.4-6 (東京).
  25. 李鎔範, 内山美枝子, 風間清子, 皆川靖子, 蔡篤儀, 弦巻正樹, 定方美恵子, 佐山光子: 表面筋電図測定によるマンモグラフィ被検者の身的負荷の定量評価. 医用画像情報学会平成24年度秋季(第164回)大会, 2012.10.13 (仙台).
  26. 遠藤 駿, 李鎔範, 蔡篤儀: MTFフラクタル次元を用いた医用画像の画質評価. 医用画像情報学会平成24年度秋季(第164回)大会, 2012.10.13 (仙台).
  27. 室井僚哉, 李鎔範, 蔡篤儀: X線画像検査における体動に起因する不鋭領域の自動検出. 医用画像情報学会平成24年度秋季(第164回)大会, 2012.10.13 (仙台).
  28. 内山美枝子, 細野 舞, 李鎔範: マンモグラフィの経験がポジショニングの同定時間と苦痛に及ぼす影響. 第22回日本乳癌検診学会学術総会, 2012.11.9-10 (宜野湾).
  29. Sakamoto M, Kobayashi K: Assessment of trabecular bone structure using magnetic resonance imaging. Japan-Korea Joint Symposium, Proceedings of the 24th Bioengineering Conference, 2012 Annual Meeting of BED/JSME, SY2: 3: 1-2, 2012.
  30. 坂本 信, 長田郁美, 吉田秀義, 川上健作, 小林公一, 風間清子, 川上健作: Magnetic Resonance Imagingを用いたヒト膝蓋腱長さ変化の生体内解析. 日本機械学会第24回バイオエンジニアリング講演会, 325-326, 2012.
  31. 川上健作, 小林公一, 坂本 信: 前額面動画による歩行解析. 日本非破壊検査協会第43回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム, 25-28, 2012.
  32. 藤原 諒, 古賀良生, 湊 泉, 遠藤直人, 大森 豪, 坂本 信, 田邊裕治, 落合清秀, 清徳則雄, 人工股関節ステム挿入支援法の開発. 第6回日本CAOS研究会, 22-1, 2012.

33. 古賀良生, 藤原 諒, 坂本 信, 遠藤直人, 湊 泉, 田邊裕治, 大森 豪, 落合清秀, 清徳則雄, 3次元下肢アライメント評価法を基にした人工股関節臼外蓋側設置位置支援法の開発. 第6回日本CAOS研究会, 22-2, 2012.
34. 坂本 信, 近藤達也, 小林公一, 吉田秀義: 膝屈曲に伴うヒト膝蓋骨運動と膝蓋腱長さの生体内解析. 日本実験力学会第11回バイオメカニクス・ワークショップ, 25-29, 2012.
35. 近藤達也, 坂本 信, 小林公一, 吉田秀義, 川上健作: ヒト後十字靭帯のMRIを用いた生体内変形測定. 日本非破壊検査協会平成24年度春季講演大会, 147-148, 2012.
36. 坂本 信, 小林公一, 吉田秀義: MRIを用いた膝屈曲に伴う膝蓋骨運動と膝蓋腱長さの生体内解析. 日本実験力学会2012年度年次講演会, 165-169, 2012.
37. 遠藤英昭, 佐々木具文, 千葉美麗, 金高弘恭, 伊藤秀美, 島内英俊, 坂本 信: 疑似三次元光弾性模型による咬合力伝播の解析伝播-象牙質・歯髄界面の応力解析. 日本実験力学会2012年度年次講演会, 179-181, 2012.
38. 坂本 信, 小林公一: 1.5T-MRIによる距骨および踵骨海綿骨の生体内構造解析. 第14回日本骨粗鬆症学会, 290, 2012.
39. 坂本 信, 小林公一: MRIによるヒト膝蓋腱のひずみの生体内測定, 日本機械学会2012年度年次大会, J022025, 2012.
40. 坂本 信, 定方美恵子, 西方真弓, 中澤紀代子, 小浦方格, 小林公一, 田邊裕治, 笠井美香子, 井越寿美子, 佐藤富貴子: 看護師の臨床経験が視線運動に及ぼす影響. 日本非破壊検査協会平成24年度秋季講演大会, 97-98, 2012.
41. 近藤達也, 坂本 信, 小林公一, 吉田秀義: 後十字靭帯の生体内長さ変化の解析. 日本非破壊検査協会平成24年度秋季講演大会, 99-100, 2012.
42. 近藤達也, 坂本 信, 吉田秀義, 風間清子, 小林公一: MRIによる膝屈曲に伴う後十字靭帯長さ変化の生体内解析. 第39回日本臨床バイオメカニクス学会, 114, 2012.
43. 解 晨, 湊 泉, 古賀良生, 佐藤 卓, 坂本 信, 大森 豪, 田邊裕治: Patient-specificモデルによる股関節動作解析. 第39回日本股関節学会学術集会, 208, 2012
44. ツチンダ ハリット, 古賀良生, 湊 泉, 遠藤直人, 坂本 信, 遠藤直人, 大森 豪, 解 晨, 田邊裕治: 臼蓋カップ設置におけるジグ連携型術前計画システムによる術中支援の制度検証. 第39回日本股関節学会学術集会, 488, 2012.
45. 坂本 信, 小林公一: 弾性被膜層を有する剛体球同士による接触. 日本非破壊検査協会平成24年度第2回応力・ひずみ測定部門講演会, 17-21, 2012.
46. 関谷 勝: 食品等に含まれる放射性物質から受ける健康被害について, にいがた生活保障研究会, (新潟市), 2012.2. 18
47. 野島佑太, 羽田野政義, 関谷 勝, 他2名: SPECT/CTにおける金属を含むCT減弱補正の基礎的検討, 第68回日本放射線技術学会.横浜.2012.4.14
48. 関谷 勝, 吉田 秀義, 野島佑太, 高田芳博: 面積線量計の評価, 第67回新潟県放射線技師会総会並びに学術大会(新潟), 2012.5, 新潟県放射線技師会々報(77), 39-41, 2012,12
49. 松田 直樹, 関谷 勝: Aiにおける診療放射線技師の役割について, 第67回新潟県放射線技師会総会並びに学術大会(新潟), 2012.5, 新潟県放射線技師会々報(77), 28-31, 2012,12
50. 関谷 勝, 吉田 秀義, 足利広行, 他3名: 放射線技師の業務拡大と専門技師, 第二回東北医療技術学術大会(仙台), 2012.11. 日本放射線技術学会東北部会雑誌第22号152-153,2013
51. 野島佑太, 金沢 勉, 斎藤宏明, 関谷 勝, 他2名: 非造影MRAにおける血流速度変化に対する撮像条件の最適化, 第二回東北医療技術学術大会(仙台), 2012.11. 日本放射線技術学会東北部会雑誌第22号,220-221,2013
52. 高橋直也, 樋口健史, 広瀬保夫: 交通事故死者の外傷部位検出における死後多検出器CTの有用性. 第71回日本医学放射線学会総会, 横浜市, 2012. 4.12-15

53. 高橋直也, 樋口健史, 木口貴雄, 広瀬保夫, 山内春夫, 高塚尚和, 舟山一寿: 死後CTにおける大動脈変形; 生前CTとの比較. 新潟画像医学研究会, 新潟市, 2012. 6.16
54. 高橋直也: 日本における死亡時画像診断 (Ai) の現状. 第100回新潟臨床放射線学会, 新発田市, 2012. 7.7
55. 早川岳英: 三次型MLCを用いた不整形照射野における独立検証の計算パラメータの推定, 第9回新潟放射線治療技術懇話会, 上越市, 2012.10.13.
56. 吉田秀義, 能登義幸: MDCTにおける設定照射領域と実照射領域の相違. 新潟県放射線技師会学術大会. 新潟. (H24.5)
57. 高橋千春, 渡辺康夫, 成田信浩, 吉田秀義: 心血管撮影装置における自動露出機構の線量測定への影響. 第66回 新潟アンジオ画像研究会 新潟 (H24.6)
58. 高橋千春, 渡辺康夫, 成田信浩, 吉田秀義: 心血管撮影装置における自動露出機構の線量測定への影響. 第21回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 新潟 (H24.7)
59. 吉田秀義, 関谷 勝, 高橋千春, 成田信博, 渡辺康夫: IVR装置における皮膚障害防止に関する測定について. 日本放射線技術学会第50回東北部会 (第2回東北放射線医療技術学術大会) (仙台) (H24.11)
60. 松本 徹, 村尾晃平, 和田真一, 菊池賢一, 五味志穂, 津田雪裕, 花井耕造, 長尾啓一, 松本満臣, 本田憲業, 今林悦子, 松田博史, 町田喜久, I R T-R O C法のダブルチェック効果定量への応用, 第19回日本CT検診学会学術集会, 2012.02.17-18 (長野), CT検診, 19(1): 36, 2012.
61. 松本 徹, 菊池賢一, 村尾晃平, 和田真一, 五味志穂, 津田雪裕, 花井耕造, 長尾啓一, 松本満臣, 本田憲業, 今林悦子, 松田博史, 町田喜久雄, I R T-R O C法のダブルチェック効果定量への応用, 第19回日本CT検診学会学術集会, 2012.02.17-18 (長野), CT検診, 19(1): 37, 2012.
62. 和田真一, 大久保真樹, 小林 元, Janaka C Marasinghe, 村尾晃平, 松本 徹, 新妻伸二, 曾根脩輔, 肺がんCT検診用結節自動検出CADのvirtual noduleを用いた性能評価法の研究, 第13回新潟肺ドック研究会 2012年7月14日 ホテルオクラ新潟

## 検査技術科学専攻

### 著書および学術論文

1. 岩渕三哉, 本間陽奈: 3章. 病理診断の実際. 虫垂の”いわゆるgoblet cell carcinoid”. 病理診断プラクティス 大腸癌. 八尾隆史 (編), 青笹克之 (編), 東京, 中山書店, 2012:154-162, 全273ページ.
2. 岩渕三哉, 本間陽奈, 山貝 悠, 渡辺 徹: 専門医のためのアトラス 胃内内分泌細胞癌. 胃がんperspective 2012;5(4):250-258.
3. Takahashi M, Yamahira A, Uchiyama T, Iwabuchi M, Sato N, Takizawa J, Sone H, Narita M. Idiopathic Macrocytosis in Smokers as a Possible Initial Sign of Progression to Myelodysplastic Syndrome. Ningen Dock 27(4):19-26,2012;
4. Shiga A, Ishihara T, Miyashita A, Kuwabara K, Kato T, Watanabe N, Kondo C, Yokoseki A, Takahashi M, Kuwano R, Kakita A, Nishizawa M, Takahashi H, Onodera O. Alteration of POLDIP3 Splicing Associated with Loss of Function of TDP-43 in Tissues Affected with ALS. PLoS ONE 7(8):e43120,2012;
5. Yagihara N, Sato A, Iijima K, Izumi D, Furushima H, Watanabe H, Irie T, Kaneko Y, Kurabayashi M, Chinushi M, Sato M, Aizawa Y. The prevalence of early repolarization in Wolff-Parkinson-White syndrome with a special reference to J waves and the effects of catheter ablation. J Electrocardiol. 2012;45(1):36-42.
6. Furushima H, Chinushi M, Iijima K, Izumi D, Hosaka Y, Aizawa Y. Relationship between electroanatomical voltage mapping characteristics and breakout site of ventricular activation in idiopathic ventricular tachyarrhythmia originating from the right ventricular outflow tract septum. J Interv Card Electro. 2012;33(2):135-4
7. Aizawa Y, Horie M, Inoue H, Kamakura S, Katoh T, Matsuzaki M, Misaki T, Mitamura H, Murakawa Y, Nitta T, Ogawa S, Okumura K, Sumitomo N, Yoshinaga M, Chinushi M, Fujiki A, Furushima H, Ikeda T, Ito M, Kuga K,

- Kusano K, Niwano S, Nohara R, Sasaki S, Shimizu A, Shoda M, Horii M, Nakazawa M, Sugimoto T, Yamaguchi T. Guideline for risks and prevention of sudden cardiac death. Digest Version. *Circ J*. 2012;76:489-507
8. Sato A, Tanabe Y, Chinushi M, Hayashi Y, Yoshida T, Ito E, Izumi D, Iijima K, Yagihara N, Watanabe H, Furushima H, Aizawa Y. Analysis of J waves during myocardial ischemia. *Europace*. 2012;14(5):715-23
  9. Soejima K, Chinushi M. How to ablate VT in patients with HCM or Sarcoid. *Hands-On Ablation: The Experts' Approach*. Edited by Paul Wang and Henry Hsia. Cardiotext publishing 2012
  10. Izumi D, Chinushi M, Iijima K, Furushima H, Hosaka Y, Hasegawa K, Aizawa Y. The peak-to-end of the T wave in the limb ECG leads reflects total spatial rather than transmural dispersion of ventricular repolarization in an anthropoleurin-A model of prolonged QT interval. *Heart Rhythm* 2012;9:796-803
  11. Furushima H, Chinushi M, Iijima K, Hasegawa K; Sato A, Izumi D, Watanabe H, Aizawa Y. Is coexistence of sustained ST-segment elevation and abnormal Q waves a risk factor for electrical storm in ICD patients with structural heart diseases? *Europace* 2012;14(5):675-81
  12. Aizawa Y, Jastrzebski M, Ozawa T, Kawecka-Jaszcz K, Kukla P, Mitsuma W, Chinushi M, Ida T, Aizawa Y, Ojima K, Tagawa M, Fujita S, Okabe M, Tsuchida K, Miyakita Y, Shimizu H, Ito S, Imaizumi T, Toba K. Characteristics of electrocardiographic repolarization in acute myocardial infarction complicated by ventricular fibrillation. *J Electrocardiol*. 2012;45(3):252-9
  13. Furushima H, Shimohata T, Nakayama H, Ozawa T, Chinushi M, Aizawa Y, Nishizawa M. Significance and usefulness of heart rate variability in patients with multiple system atrophy. *Mov Disord* 2012;27(4):570-4
  14. Watanabe H, Nogami A, Ohkubo K, Kawata H, Hayashi Y, Ishikawa T, Makiyama T, Nagao S, Yagihara N, Takehara N, Kawamura Y, Sato, Okamura K, Hosaka Y, Sato M, Fukae S, Chinushi M, Oda H, Okabe M, Kimura A, Maemura K, Watanabe I, Kamakura S, Horie M, Aizawa Y, Shimizu W, Makita N. Clinical Characteristics and Risk of Arrhythmia Recurrences in Patients with Idiopathic Ventricular Fibrillation Associated with Early Repolarization. *Int J Cardiol* 2012;159(3):238-40
  15. Aizawa Y, Sato A, Watanabe H, Chinushi M, Furushima H, Horie M, Kaneko Y, Imaizumi T, Okubo K, Watanabe I, Shinozaki T, Aizawa Y, Fukuda K, Joo K, Haissaguerre M. Dynamicity of the j-wave in idiopathic ventricular fibrillation with a special reference to pause-dependent augmentation of the j-wave. *J Am Coll Cardiol*. 2012;59(22):1948-53
  16. Sato A, Chinushi M, Iijima K, Izumi D, Furushima H. Insulation Defects of Riata Implantable Cardioverter Defibrillator Leads. *Internal Medicine* 2012;51(19):2689-94
  17. Chinushi M, Sato A, Izumi D, Furushima H. Nifekalant enlarged the transmural activation-recovery interval difference as well as the peak-to-end interval on surface ECG in a patient with short QT syndrome. *J Cardiovasc Electrophysiol* 2012;23(8):877-80
  18. Chinushi M, Hasegawa K, Iijima K, Furushima H, Izumi D, Sato A, Aizawa Y Characteristics of J wave-associated idiopathic ventricular fibrillation: Role of drugs. *Pacing Clin Electrophysiol* 2012;35(8):e226-30
  19. Iijima K, Chinushi M, Furushima H, Aizawa Y. Intramural inflammation as a cause of transient ST-segment elevation in a patient of cardiac sarcoidosis *Europace* 2012;14(2):300-2.
  20. Chinushi M, Izumi D, Furushima H, Sato A, Iijima K, Hasegawa K, Aizawa Y Epicardial scar in a patient with no apparent heart disease. *Pacing Clin Electrophysiol* 2012;35(5):e136-9
  21. Iijima K, Chinushi M, Furushima H, Aizawa Y Epicardial and endocardial mapping determine most successful site of ablation for ventricular tachyarrhythmias originating from left ventricular summit *Europace* 2012;14(6):911-2
  22. Ito M, Hasegawa K, Arakawa M, Chinushi M. Post-exercise Cardiac Asystole in a Young Competitive Athlete. *Internal Medicine*. 2012;51(8):979.
  23. Sato A, Chinushi M, Suzuki H, Numano F, Hanyu T, Iijima K, Watanabe H, Furushima H. Long QT Syndrome with Nocturnal Cardiac Events Caused by a KCNH2 Missense Mutation (G604S). *Internal Medicine* 2012;51(14):1857-60

24. Sato A, Chinushi M, Sonoda K, Abe A, Izumi D, Furushima H. Benign premature ventricular complexes from right ventricular outflow tract triggered polymorphic ventricular tachycardia in a latent type 2 LQTS patient. *Internal Medicine* 2012;51 (23):3261-5.
25. Hasegawa K, Sato A, Watanabe H, Furushima H, Chinushi M, Aizawa Y Early repolarization and its modification by pre-excitation in two patients with intermittent Wolff-Parkinson-White syndrome *Pacing Clin Electrophysiol* 2012;35 (8):e231-3
26. Chinushi M, Sato A, Iijima K, Suzuki K, Furushima H, MD. Izumi D, Watanabe H, Kanae H, Aizawa Y Exercise related QT interval shortening with a peaked T wave in a healthy boy with a family history of sudden cardiac death *Pacing Clin Electrophysiol* 2012;35 (8):e239-42.
27. Chinushi M, Sato A. Incessant Ventricular Tachyarrhythmia at Emergency Room. *Journal of Cardiology Cases*. 2012:e185–e186
28. Tagawa M, Chinushi M, Sato A, Iijima K, Uchiyama H, Ochiai Y, Nakamura Y, Furushima H, Aizawa Y. Recurrence of Ventricular Fibrillation in a Patient with Non-type 1 Brugada Electrocardiographic Morphology. *Journal of Cardiology Cases* 2012; 6, e17-e19
29. 池主雅臣・飯嶋賢一。不整脈学。第5章薬物治療。⑧Ⅲ群抗不整脈薬・ニフェカランとdIソタロール。p262-265 井上 博・村川裕二 編集。南江堂 2012年9月25日 発行
30. 池主雅臣・園田桂子。不整脈に対するアブレーション・デバイス治療。池田隆徳 監修。メディカ出版 2012年3月1日発行
31. 池主雅臣・林 由香。もう迷わない！心房細動マネージメント。薬物治療の実際：病型・病態よりみた薬剤選択。P101－109奥村謙 監修編集。Medical View社 2012年3月20日発行
32. 園田桂子・小村 悟・池主雅臣・長谷川奏恵・八木原伸江・飯嶋賢一・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司・相澤義房。冠攣縮に伴う房室ブロックにより失神発作を繰り返した1例。心電図 2012;32:S3-45-50
33. 佐藤光希・池主雅臣・八木原伸江・飯嶋賢一・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司・岡田正彦・相澤義房。成人におけるJ波の頻度とその特徴。外来症例における検討。心電図 2012;32;S1,19-25
34. Tomiyama C, Watanabe H, Watanabe M, Abo T: Immunosuppressive function of dendritic cells existed in the liver. *Curr Res in Immunology*, 6: 1-7, 2012.
35. Abo T, Tomiyama C, Watanabe H: Biology of autoreactive extrathymic T cells and B-1 cells of the innate immune system. *Immunol Res*, 52: 224-30, 2012.
36. Watanabe M, Takano O, Tomiyama C, Matsumoto H, Urahigashi N, Kainuma E, Madarame T, Fukuda M, Abo T: The effects of application of an ancient type of acupuncture needle on body temperature, immune function and the autonomic nerve system. *Health*, 4:775-780, 2012.
37. Watanabe M, Takano O, Tomiyama C, Matsumoto H, Kobayashi T, Urahigashi N, Urahigashi N, Abo T: Skin rubdown with a dry towel, ‘kanpu-masatsu’ is an aerobic exercise affecting body temperature, energy production, and the immune and autonomic nervous systems. *Biomed Res*, 33: 243-248, 2012.
38. Ikarashi N, Toba K, Kato K, Ozawa T, Oda M, Takayama T, Kobayashi H, Yanagawa T, Hanawa H, Suzuki T, Nakazawa M, Nomoto M, Asami F, Higuchi M, Saito H, Aizawa Y. Erythropoietin, but not asialoerythropoietin or carbamyl-erythropoietin, attenuates monocrotaline-induced pulmonary hypertension in rats. *Clin Exp Hypertens* 34 (8):575-581, 2012
39. 中野正明。多発性筋炎・皮膚筋炎における腎障害。腎臓症候群（第2版）XII 各種病態にみられる腎障害 膠原病, 血管炎.別冊日本臨床：p 112-113, 2011
40. Kuroda T, Tanabe N, Kobayashi D, Sato H, Wada Y, Murakami S, Saeki T, Nakano M, Narita I: Treatment with biologic agents improves the prognosis of patients with rheumatoid arthritis and amyloidosis. *J Rheumatol* 39: 1348-54, 2012
41. Kuroda T, Tanabe N, Kobayashi D, Sato H, Wada Y, Murakami S, Nakano M, Narita I: Association between clinical

- parameters and amyloid-positive area in gastroduodenal biopsy in reactive amyloidosis associated with rheumatoid arthritis. *Rheumatol Int* 32: 933-9, 2012
42. Sato H, Tanabe N, Murasawa A, Otaki Y, Sakai T, Sugaya T, Ito S, Otani H, Ishikawa H, Nakazono K, Kuroda T, Nakano M, Narita I: Procalcitonin is a specific marker for detecting bacterial infection in patients with rheumatoid arthritis. *J Rheumatol* 39: 1517-23, 2012
43. Kuroda T, Tanabe N, Kobayashi D, Wada Y, Murakami S, Nakano M, Narita I : Significant association between renal function and area of amyloid deposition in kidney biopsy specimens in reactive amyloidosis associated with rheumatoid arthritis. *Rheumatol Int* 32: 3155-62, 2012
44. Kuroda T, Tanabe N, Kobayashi D, Wada Y, Murakami S, Nakano M, Narita I : Significant association between renal function and amyloid-positive area in renal biopsy specimens in AL amyloidosis. *BMC Nephrology* 13: 118-124, 2012
45. Sato H, Iino N, Ohashi R, Saeki T, Ito S, Saito M, Tsubata Y, Yamamoto S, Murakami S, Kuroda T, Tanabe Y, Fujisawa J, Murai T, Nakano M, Narita I, Gejyo F: Hypogammaglobulinemic patient with polyarthritis mimicking rheumatoid arthritis finally diagnosed as septic arthritis caused by *Mycoplasma hominis*. *Intern Med* 51: 425-9, 2012
46. 中野正明, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 成田一衛 : RA, SLEにおける可溶性TNF受容体の測定意義. *中部リウマチ* 41: 50-51, 2012
47. 近藤直樹, 荒井勝光, 藤澤純一, 佐野博繁, 村井丈寛, 根津貴広, 勝見亮太, 和田庸子, 村上修一, 小林大介, 中野正明, 遠藤直人 : 当院リウマチ外来患者におけるTNF阻害薬の継続性の検討. *中部リウマチ* 41: 68-69, 2012
48. 小林大介, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 中野正明, 成田一衛 : ループス腎炎に過重型妊娠高血圧腎症を合併し, 生児を得たSLEの1例. *中部リウマチ* 41: 80-81, 2012
49. 佐藤弘恵, 村澤 章, 豊島洋一, 大谷 博, 阿部麻美, 菅谷壽晃, 伊藤 聡, 石川 肇, 中園 清, 黒田毅, 中野正明, 成田一衛 : 関節リウマチの関節破壊進行における性差についての検討. *中部リウマチ* 42: 26-27, 2012
50. 佐藤弘恵, 村澤 章, 豊島洋一, 大谷 博, 阿部麻美, 菅谷壽晃, 伊藤 聡, 石川 肇, 中園 清, 黒田毅, 中野正明, 成田一衛 : 関節リウマチにおける長期的な関節破壊進行と抗CCP抗体の関連について. *中部リウマチ* 42: 28-29, 2012
51. 黒田 毅, 小林大介, 和田庸子, 村上修一, 中野正明, 成田一衛 : アミロイド症における各種生物製剤の有効性. *中部リウマチ* 42: 44-45, 2012
52. 黒田 毅, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 中野正明, 成田一衛 : C型肝炎合併関節リウマチにインフリキシマブが安全かつ有効であった1例. *中部リウマチ* 42: 62-63, 2012
53. Narita M, Saito A, Kojima A, Iwabuchi M, Satoh N, Uchiyama T, Yamahira A, Furukawa T, Sone H, Takahashi M: Quantification of BCR-ABL mRNA in Plasma/Serum of Patients with Chronic Myelogenous Leukemia. *Int J Med Sci* 9(10):901-908,2012
54. Uchiyama T, Satoh N, Narita M, Yamahira A, Iwabuchi M, Furukawa T, Sone H, Takahashi M: Direct effect of dasatinib on proliferation and cytotoxicity of natural killer cells in in vitro study. *Hematol Oncol* doi: 10.1002/hon.2034,2012
55. Yamahira A, Narita M, Ishii K, Jayathilake RMC, Iwabuchi M, Satoh N, Uchiyama T, Taniguchi T, Hashimoto S, Kasahara N, Faure E, Boganc B, Takizawa J, Sone H, Takahashi M: Enhancement of antigen presenting ability in the leukemic plasmacytoid dendritic cell line (PMDC05) by lentiviral vector-mediated transduction of CD80 gene. *Leuk Res* 36(12):1541-6,2012;
56. 山平晶恵, 成田美和子, 石井かよこ, 高橋益廣 : レンチウイルスベクターを用いた CD80 遺伝子導入による白血病性形質細胞様樹状細胞株 (PMDC05) の抗原提示能の増強 新潟大学医学部保健学科紀要 10(2), 29-38, 2012.
57. Nozaki H. Consideration of the pathogenesis of CARASIL. *Rinsho Shinkeigaku* 52(11): 1360-1362, 2012

58. 関根有美, 野崎洋明, 西澤正豊, 小野寺理: 脳小血管病と遺伝性脳小血管病 循環器内科 71(2): 140-144, 2012
59. 野崎洋明, 西澤正豊, 小野寺理: 孤発性脳小血管病と遺伝性脳小血管病 Clinical Neuroscience 30(5): 553-555, 2012
60. Matsuda Y. and Wakai T: Molecular Mechanism of DNA Damage Response Pathway During Hepatic Carcinogenesis. In: Hepatocellular Carcinoma - Basic Research. Wan-Yee Lau (eds), InTech, ISBN 978-953-51-0023-2, 2012, Chapter 15, p. 313-324, DOI: 10.5772/29801
61. Fujimaki S, Matsuda Y, Wakai T, Sanpei A, Kubota M, Takamura M, Yamagiwa S, Yano M, Ohkoshi S, Aoyagi Y. Blockade of ataxia telangiectasia mutated sensitizes hepatoma cell lines to sorafenib by interfering with Akt signaling. Cancer Lett 319(1):98-108, 2012
62. Takahashi T, Miura T, Nakamura J, Yamada S, Miura T, Yanagi M, Matsuda Y, Usuda H, Emura I, Tsuneyama K, He XS, Gershwin ME. Plasma cells and the chronic nonsuppurative destructive cholangitis of primary biliary cirrhosis. Hepatology 55(3):846-855, 2012
63. Kamimura H, Yamagiwa S, Tsuchiya A, Takamura M, Matsuda Y, Ohkoshi S, Inoue M, Wakai T, Shirai Y, Nomoto M, Aoyagi Y. Reduced NKG2D ligand expression in hepatocellular carcinoma correlates with early recurrence. J Hepatol 56(2):381-388, 2012

## 学会発表および研究会発表

1. 本間陽奈, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 多田美智子, 山貝 悠: AFP産生胃癌の組織細胞像とHepPar1発現の特徴. 第84回日本胃癌学会総会. 2012.2.8-10. (大阪)
2. 多田美智子, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 本間陽奈, 山貝 悠: 消化管粘膜における内分泌細胞の分布と変動. 第84回日本胃癌学会総会. 2012.2.8-10. (大阪)
3. 多田美智子, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 本間陽奈, 山貝 悠: 回腸多発性カルチノイド腫瘍の1例. 第7回 NET Work Japan.2012.2.18 (東京)
4. 本間陽奈, 岩渕三哉, 多田美智子, 山貝 悠: AFP産生胃癌と共存腺癌の胃腸型性質の特徴. 第101回日本病理学会総会. 2012.4.26-28. (東京)
5. 山貝 悠, 岩渕三哉, 多田美智子, 本間陽奈: 大腸の低分化腺癌充実型の胃腸型性質, 細胞接着因子, EGFR発現の特徴. 第101回日本病理学会総会. 2012.4.26-28. (東京)
6. 岩渕三哉, 原岡誠司, 海崎泰治: 消化管の内分泌細胞腫瘍の概念, 分類と病理診断. コンパニオンミーティング「消化管腫瘍における病理診断の実際: Colitic cancerと消化管神経内分泌腫瘍」. 第101回日本病理学会総会. 2012.4.26-28. (東京)
7. 岩渕三哉: ワークショップ「神経内分泌腫瘍の病理」消化管内分泌細胞腫瘍の概念・分類と病理診断. 第55回日本病理学会関東支部総会および学術集会. 2012.6.9 (三鷹)
8. 本間陽奈, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 山貝 悠: AFP産生胃癌の特徴ー共存腺癌, 胃腸型性質, AFP発現. 第7回日本臨床検査学教育学会学術大会. 2012.8.22-24. (名古屋)
9. 山貝 悠, 岩渕三哉, 渡辺 徹, 本間陽奈: 大腸の低分化腺癌充実型の胃腸型性質, 細胞接着因子, EGFR発現. 第7回日本臨床検査学教育学会学術大会. 2012.8.22-24. (名古屋)
10. Megumi Sato, Satoru Kawai, Yoshimasa Maeno, Richard Culleton, Shusuke Nakazawa. Detection of monkey malaria parasites in fecal samples. The 2nd International Symposium on Human and Monkey Malaria in Vietnam 2012.03.6-7 (Vietnam)
11. Megumi Sato, Tippayarat Yoonuan, Surapol Sanguankiat, Tiengkham Pongvongsa, Inthava Phimmayoi, Bounngong Boupa, Kazuhiko Moji, Jitra Waikagul. Usefulness of copro-molecular tools for identification and epidemiology of helminthic infections 2012.03.24-25 (兵庫)
12. Megumi Sato, Tiengkham Pongvongsa, Marcello Otake Sato, Surapol Sanguankiat, Bounngong Boupha, Kazuhiko

- Moji, Jitra Waikagul. The role of dogs as a source of helminthes infections to human in Lahanam village, Laos PDR. The 6th National health Research Forum 2012.09. 14-15 (Savannakhet, Laos)
13. Megumi SATO, Satoru KAWAI, Yoshimasa MAENO, Richard CULLETON, Shunsuke NAKAZAWA. Detection of monkey malaria parasites in fecal samples 2012.09 (Sao Luis, Brazil)
  14. Kazuhiko Moji, Bunpei Tojo, Hongwei Jiang, Futoshi Nishimoto, Toshifumi Minamoto, Shinsuke Tomita, Yukihiro Khomatsu, Atsushi Maruyama, Kohei Funatsu, Megumi Sato, Jitra Waikagul, Tiengkham Pongvongsa, Panom Phongmany, Sengchanh Kounnavong, Kongsap Akkavong, Bounngong Boupha, Chiho Watanabe. Impact of expansion of wet rice fields on the risk of liver fluke infection 2012.12.12-14 (Bangkok, Thailand)
  15. Takahashi M, Narita M, Yamahira A, Masuko M, Furukawa T Long-lasting Suppression of bcr-abl with Amplification of CTLs in a WT1 Peptide-treated CML Patient 世界生物医学検査会議 (WCBSL) 2012.8.18-22 (ベルリン)
  16. Takahashi M, Iwabuchi M, Yamahira A, Satoh N, Uchiyama T, Hashimoto S, Bonehill A, Faure-Kumar E, Bogan B, Kasahara N, Takizawa J, Sone H, Narita M Establishment of potent antigen presenting cell line by lentiviral vector-mediated transduction of caTLR4 gene into leukemic plasmacytoid dendritic cell line (PMDC11) 第12回国際DCシンポジウム 2012.10.7-11 (大邱, 韓国)
  17. 飯嶋賢一・池主雅臣・有田匡孝・長谷川奏恵・園田桂子・八木原伸江・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司・相澤義房. 通常型房室結節リエントリー性頻拍とアデノシン感受性左心房頻拍を合併した1例. 第24回臨床不整脈研究会. 平成24年1月14日東京
  18. 羽二生尚訓・渡辺健一・沼野藤人・鈴木 博・佐藤光希・古嶋博司・池主雅臣・渡邊マヤ・白石修一・高橋昌. 経静脈リードを皮下に用いて植え込み型除細動器(ICD)を植え込んだJervell and Lang-Nielsen (JLN)症候群の女児例. 日本不整脈学会第4回植え込みデバイス関連冬季大会. 平成24年2月11日北九州
  19. 和泉大輔・佐藤光希・飯嶋賢一・長谷川奏恵・園田桂子・八木原伸江・渡部 裕・古嶋博司・相澤義房・池主雅臣・羽二生尚訓・鈴木 博・渡邊マヤ・白石修一・高橋 昌. 3度房室ブロックに対する心外膜ペースメーカー植え込み後に心不全の増悪を来したためCRT-PへアップグレードしたMustard術後の完全大血管転位例. 日本不整脈学会第4回植え込みデバイス関連冬季大会. 平成24年2月12日北九州
  20. 飯嶋賢一・池主雅臣・有田匡孝・長谷川奏恵・園田桂子・八木原伸江・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司・相澤義房. 通常型房室結節リエントリー性頻拍とアデノシン感受性左心房頻拍を合併した1例. 第270回新潟循環器談話会. 平成24年3月3日
  21. 羽二生尚訓・渡辺健一・沼野藤人・鈴木 博・齊藤昭彦・池主雅臣・古嶋博司・渡邊マヤ・白石修一・高橋 昌. 経静脈リードを皮下に用いて植え込み型除細動器(ICD)を植え込んだJervell and Lang-Nielsen (JLN)症候群の女児例. 第270回新潟循環器談話会. 平成24年3月3日
  22. Chinushi M, Izumi D, Iijima K, Hasegawa K, Suzuki K, Furuta Y, Tada M, Saitoh O, Honma H, Furushima H, Iwafuchi M, Aizawa Y. Hemodynamic and Histological Effects of Radiofrequency Catheter Ablation to Renal Artery. The 76th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. 2012 March 16-18 Fukuoka
  23. Chinushi M, Furushima H, Izumi D, Sato A, Iijima K, Hasegawa K, Sonoda K, Yagihara N, Watanabe H, Aizawa Y. Acute and Follow-up Results of Isolated Delayed Potential Guided Epicardial Radiofrequency Ablation to Suppress VT Electrical Storm. The 76th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. 2012 March 16-18 Fukuoka
  24. Furushima H, Chinushi M, Iijima K, Izumi D, Yagihara N, Sonoda K, Watanabe H, Sato A, Aizawa Y. Different Characteristics of Circadian Variation of the Signal Averaged ECG between Brugada Syndrome and Right Ventricular Cardiomyopathy. The 76th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. 2012 March 16-18 Fukuoka
  25. Iijima K, Chinushi M, Hasegawa K, Sonoda K, Yagihara N, Sato A, Izumi D, Watanabe H, Furushima H, Aizawa Y. Left Ventricular Wall Thickness and Left Ventricular Mass are Powerful Determinants of the Complexity of Activation in Human Ventricular Fibrillation. The 76th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. 2012 March 16-18 Fukuoka

26. Yagihara N, Sonoda H, Watanabe H, Obata H, Sato A, Hanawa H, Oda M, Ikeda Y, Ueda H, Chinushi M, Furushima H, Izumi D, Iijima K, Hasegawa K, Kodama M. Altered Gene Expression Profiles and Pathomechanism in Novel LMNA Mutation Associated with Dilated Cardiomyopathy, Sinus Node Dysfunction, and Atrioventricular Block. The 76th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. 2012 March 16-18 Fukuoka
27. Aizawa Y, Sato A, Hasegawa K, Chinushi M, Furushima H, Sato M, Horie M, Imaizumi T, Watanabe I, Aizawa Y, Fukuda K, Kaneko Y, Kurabayashi M, Shinozaki T, Aonuma K, Kuwano H, Haissaguerre M. Dynamicity of J Wave in Idiopathic Ventricular Fibrillation with a Special Reference to Pause-dependent Augmentation of J Wave. The 76th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. 2012 March 16-18 Fukuoka
28. Sato A, Chinushi M, Suzuki H, Sonoda K, Hasegawa K, Yagihara N, Iijima K, Izumi D, Watanabe H, Furushima H, Aizawa Y. Useful Genetic Analysis in Short QT Cases with no Cardiac Event. The 76th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. 2012 March 16-18 Fukuoka
29. Sato A, Watanabe H, Louise H, Makiyama T, Shimizu W, Sonoda K, Hasegawa K, Yagihara N, Iijima K, Izumi D, Furushima H, Roden Dan M, Horie M, Chinushi M, Aizawa Y. The Various Unusual phenotypes and Overlaps Caused by a D1275N Mutation in SCN5A. The 76th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. 2012 March 16-18 Fukuoka
30. 古田由衣・池主雅臣・鈴木克弥・古嶋博司・飯嶋賢一・和泉大輔・佐藤光希・石田尚子・斎藤 修。発作性心房細動・Brugada症候群・高血圧症例の心房内伝導遅延の評価（心房加算平均心電図を用いた検討）。第76回日本循環器学会学術集会。平成24年3月16-18日福岡
31. 鈴木克弥・池主雅臣・古田由衣・古嶋博司・飯嶋賢一・和泉大輔・佐藤光希・石田尚子・斎藤 修。Brugada症候群例と健常例の心内興奮伝導分布：加算平均心電図を用いた検討。第76回日本循環器学会学術集会。平成24年3月16-18日 福岡
32. 鈴木克弥・池主雅臣・古田由衣・古嶋博司・飯嶋賢一・和泉大輔・佐藤光希・石田尚子・斎藤 修。加算平均心電図を応用したBrugada症候群と健常群の興奮伝播の評価。第32回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会。平成24年6月9日新潟
33. 山崎まゆみ・朝妻和香・高野義昭・佐藤政仁・北沢 仁・岡部正明・相澤義房・古嶋博司・池主雅臣。ホルター心電図によるJ波の検討（第2報）。心房性期外収縮による変化。第32回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会。平成24年6月9日新潟
34. 斎藤 修・池主雅臣・杉浦広隆・阿部 暁・樋口浩太郎・大塚英明。ホルター心電図検査を用いてのJ波定量評価と自律神経興奮の関与の検討。第32回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会。平成24年6月9日新潟
35. 池主雅臣・佐藤光希・飯嶋賢一・渡部 裕・古嶋博司。先天性QT短縮症候群の心内再分極分布と心電図指標（薬物療法の功罪）。第6回不整脈治療講演会。平成24年6月15日 東京
36. 津田 隆・山口利夫・太刀川仁・池主雅臣。失神にて緊急搬送され、左室下壁にJ波を認めた冠攣縮性狭心症の1例。第271回新潟循環器談話会総会 平成24年6月23日新潟
37. 鈴木 博・羽二生尚訓・渡辺健一・星名 哲・斎藤昭彦・佐藤光希・古嶋博司・池主雅臣。先天性QT延長症候群の家族歴のあり、胎児期より管理した症例の検討。第271回新潟循環器談話会総会 平成24年6月23日新潟
38. 佐藤光希, 池主雅臣, 長谷川裕紀, 渡辺 達, 五十嵐登, 飯嶋賢一, 和泉大輔, 渡部 裕, 古嶋博司。左室リードの段階的な断線により心不全の増悪に至った2症例。第7回新潟ICD/CRT治療研修検討会。平成24年6月23日新潟
39. 田川 実・池主雅臣・中村裕一・相澤義房。心室細動で緊急搬送され、入院時にnon-type1のブルガダ様心電図変化を認めた1例。第7回新潟ICD/CRT治療研修検討会。平成24年6月23日新潟
40. 田川 実・落合幸江・中村裕一・池主雅臣・佐藤光希・相澤義房。ニューキノロン系経口抗菌剤の内服後に意識消失を繰り返し、QT延長症候群の診断が得られた高齢者の1例。第27回日本不整脈学会学術大会 平成24年7月6-7日横浜

41. 佐藤光希・園田桂子・飯嶋賢一・八木原伸江・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司・池主雅臣。Riata-ICDリードにおける皮膜損傷の検討。第27回日本不整脈学会学術大会 平成24年7月6-7日横浜
42. 林 由香・古嶋博司・和泉大輔・佐藤光希・飯嶋賢一・八木原伸江・園田桂子・渡部 裕・池主雅臣。V5-6にS波を伴わず移行帯をV1に認める流出路起源心室頻拍・心室性期外収縮の連続3症例の検討。第27回日本不整脈学会学術大会 平成24年7月6-7日横浜
43. 園田桂子・伊藤正洋・小幡裕明・和泉大輔・池主雅臣・池田洋平・堀 祐朗・吉村宣彦。心電図同期下CTによるゆうぜい描出が診断に有用であったリード感染症の1例。第27回日本不整脈学会学術大会 平成24年7月6-7日横浜
44. 飯嶋賢一・池主雅臣・園田桂子・八木原伸江・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司。ICD治療抵抗性の高除細動閾値の心室細動がソタロール内服により除細動可能となった1例。第27回日本不整脈学会学術大会 平成24年7月6-7日横浜
45. 和泉大輔・古嶋博司・佐藤光希・飯嶋賢一・八木原伸江・園田桂子・渡部 裕・池主雅臣。不整脈源性右室心筋症と心機能正常例における心筋単局電位の検討。第27回日本不整脈学会学術大会 平成24年7月6-7日横浜
46. 和泉大輔・鈴木克弥・飯嶋賢一・佐藤光希・渡部 裕・古嶋博司・池主雅臣。抗凝固療法における血栓塞栓症と出血合併症の検討。Time in Therapeutic Range と P T - I N R 変動の解析。第3回新潟抗血栓・抗凝固フォーラム 平成24年7月27日 新潟
47. 飯嶋賢一・池主雅臣。持続性心房細動のカテーテルアブレーションにおけるアミオダロン併用の意義(有効例と無効例の解析から)。第二回新潟不整脈治療カンファランス。平成24年9月21日 新潟
48. 飯嶋賢一・池主雅臣・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司。Phase-2 Reentry と異なる Initial Mode で心室細動が発症したBrugada症候群の2例 第二回四圍循環器カンファランス 平成24年7月21日 高崎
49. Izumi D, Chinushi M, HFurushima H, Iijima K, Sato A, Watanabe H. Effects of primary prevention ICD therapy for sudden cardiac death in patients with old myocardial infarction and idiopathic dilated cardiomyopathy. The 5th Asia-Pacific Heart Rhythm Society Scientific Sessions. 2012/10/3-6 (Taiwan)
50. Furushima H, Chinushi M, Iijima K, Izumi D, Watanabe H, Sato A, Aizawa Y. Different Characteristics of Circadian Variation of the Signal-averaged ECG between Brugada Syndrome and Right Ventricular Cardiomyopathy. The 5th Asia-Pacific Heart Rhythm Society Scientific Sessions. 2012/10/3-6 (Taiwan)
51. Iijima K, Chinushi M, Sato A, Izumi D, Watanabe H, Furushima H. Electrophysiological Characteristics Difference between Induced and Spontaneously Occurring Ventricular Fibrillations. The 5th Asia-Pacific Heart Rhythm Society Scientific Sessions. 2012/10/3-6 (Taiwan)
52. 佐藤光希・池主雅臣・鈴木 博・沼野藤人・羽二生尚訓・飯嶋賢一・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司。睡眠中のTorsade de Pointesが記録されたKCNH2 変異(G604S)を保有するType2 QT延長症候群の一例 第29回日本心電学会総会 平成24年10月11-12日 千葉幕張
53. 和泉大輔・池主雅臣・古嶋博司・飯嶋賢一・佐藤光希・渡部 裕。拡張型心筋症例の長期経過におけるICD適切作動の予測因子の検討。第29回日本心電学会総会 平成24年10月11-12日 千葉幕張
54. 古嶋博司・池主雅臣・下畑享良・飯嶋賢一・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・小澤鉄太郎・西澤正豊・相澤義房。多系統萎縮症におけるHeart rate variabilityの有用性と意義。平成24年10月11-12日 千葉幕張
55. 飯嶋賢一・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司・池主雅臣。除細動試験における誘発心室細動と自然発症の心室細動の差異に関する検討。第29回日本心電学会総会 平成24年10月11-12日 千葉幕張
56. 齋藤 修・池主雅臣・杉浦広隆・阿部 暁・樋口浩太郎・大塚英明。J波と心室再分極指標に対する自律神経興奮の関与。ホルター心電図を用いた検討。平成24年10月11-12日 千葉幕張
57. 杉浦広隆・阿部 暁・樋口浩太郎・大塚英明・池主雅臣。通電時の所見からKent slow 束とslow pathwayの心房付着部位の近接が推定されたAVRTの1例。第10回信越心電図セミナー。平成24年10月20日黒姫
58. 大槻 総・池主雅臣・飯嶋賢一・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司・南野 徹。診断とアブレーション治療効果判定にATP静注が有効であったWPW症候群の2例。第10回信越心電図セミナー。平成24

年10月20日黒姫

59. Chinushi M, Izumi D, Iijima K, Suzuki K, Furushima H, Aizawa Y, Iwafuchi M. Hemodynamic Responses and Histological Effects of Radiofrequency Catheter Ablation to Renal Artery Sympathetic Nerve. 2012 American Heart Association 2012/11/7 LA USA
60. Iijima K, Sato A, Izumi D, Watanabe H, Furushima H, Chinushi M, Correlation between Defibrillation Threshold and Dominant Frequency of Ventricular Fibrillation. 2012 American Heart Association 2012/11/6 LA USA
61. Furushima H, Chinushi M, Izumi D, Sato A, Iijima K, Watanabe H, Aizawa Y, Radiofrequency Catheter Ablation to Ventricular tachycardia with Tetralogy of Fallot —Usefulness of Ablation to Narrow Channel of Macroreentrant Circuit around Ventricular Septal Patch— 2012 American Heart Association 2012/11/7 LA USA
62. Hasegawa K, Ohno S, Itoh H, Makiyama T, Toyoda F, Ding Wei-Guang, Ito M, Chinushi M, Matsuura H, Horie M. Novel KCNQ1 missense mutation associated with juvenile-onset atrial fibrillation. 2012 American Heart Association 2012/11/7 LA USA
63. 田川 実・池主雅臣・落合幸江・中村裕一・相澤義房。心機能低下を伴い治療抵抗性の心房細動に対してアミオダロンの内服が有効であった1例。第7回新潟アミオダロン講演会。平成24年11月16日 新潟
64. 古嶋博司・池主雅臣・園田桂子・八木原伸江・飯嶋賢一・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・南野 徹。左室中隔側からのカテーテル焼灼術が有効であった, 左脚ブロック波形心室頻拍を併発した亜急性期下壁心筋梗塞の1例。2012カテーテルアブレーション研修セミナー (Fundamental Course Program) 2012/11/24 下関
65. 勝海悟郎・池主雅臣・飯嶋賢一・佐藤光希・和泉大輔・渡部 裕・古嶋博司・南野 徹。多形性心室頻拍の契機となるLV summit領域の心室性期外収縮にカテーテルアブレーションが奏功した1例。第25回心臓性急性研究会。平成24年12月15日 東京品川
66. 相澤義泰・高月誠司・木村雄弘・西山信大・福本耕太郎・谷本陽子・谷本耕司郎・三好俊一郎・福田恵一・鈴木 誠・横山泰廣・池主雅臣・相澤義房。完全右脚ブロックを呈する特発性心室細動症例の臨床のおよび心電図学的特徴の検討。YIA候補論文発表会。第27回日本不整脈学会学術大会 平成24年7月6日横浜
67. 佐藤弘恵, 大谷 博, 阿部麻美, 伊藤 聡, 石川 肇, 中園 清, 村澤 章, 黒田 毅, 中野**正明**, 成田一衛: 関節リウマチ患者の血清Fibroblast growth factor 23 (FGF23) と骨密度との関連について, 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2012.04.26-28 (東京).
68. 藤澤純一, 近藤直樹, 根津貴広, 中野**正明**, 黒田 毅, 村上修一, 和田庸子, 中枝武司, 佐藤弘恵, 荒井勝光, 村井丈寛, 佐野博繁, 羽生忠正, 遠藤直人: 当院における生物学的製剤の有効性と継続性の検討, 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2012.04.26-28 (東京).
69. 中野**正明**, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 成田一衛: 多発性筋炎・皮膚筋炎 (PM・DM) の腎障害, 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2012.04.26-28 (東京).
70. 和田庸子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 村上修一, 黒田 毅, 中野**正明**, 成田一衛: ANCA関連血管炎における血清angiopoietin-2濃度は, 疾患活動性と腎機能障害を反映する, 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2012.04.26-28 (東京).
71. 黒田 毅, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 中野**正明**, 成田一衛: 生物学的製剤使用による関節リウマチ合併アミロイドーシスの生命予後の検討, 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2012.04.26-28 (東京).
72. 佐藤弘恵, 近藤直樹, 藤澤純一, 荒井勝光, 遠藤直人, 野澤由貴子, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 中野**正明**, 成田一衛: ビスホスホネート使用膠原病患者におけるX線上過剰骨代謝回転抑制 (SSBT-Xp) の頻度, 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2012.04.26-28 (東京).
73. 中枝武司, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, 中野**正明**, 成田一衛: 全身性エリテマトーデスにおけるアルファカルシドールの抗レニン効果, 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2012.04.26-28 (東京).
74. Wada Y, Nozawa Y, Sato H, Nakatsue T, Murakami S, Kuroda T, Nakano M, Narita I: Serum angiopoietin-2 level strongly reflects the disease activity and renal function in ANCA-associated vasculitis, The Asia Pacific Meeting of

Vasculitis and ANCA Workshop 2012, March 28-31, 2012 (Tokyo).

75. 和田庸子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, **中野正明**, 成田一衛: ANCA関連血管炎における血清 angiopoietin-2濃度は, 疾患活動性と腎機能障害を反映する, 第55回日本腎臓学会学術総会, 2012.06.01-03 (横浜).
76. 黒田 毅, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, **中野正明**, 成田一衛: 関節リウマチにより反応性アミロイドーシスを合併した1剖検例における腎組織へのアミロイド沈着の検討, 第24回中部リウマチ学会, 2012.08.31-09.01 (名古屋).
77. 和田庸子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 村上修一, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 早期関節リウマチを合併し, 腎生検が診断に有用であった顕微鏡的多発血管炎の1例, 第24回中部リウマチ学会, 2012.08.31-09.01 (名古屋).
78. 広瀬絵理子, 和田庸子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 村上修一, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 多発する胸部異常影を契機に診断された高安動脈炎の1例, 第24回中部リウマチ学会, 2012.08.31-09.01 (名古屋).
79. 中枝武司, 佐藤弘恵, 和田庸子, 村上修一, 黒田 毅, **中野正明**, 成田一衛: 抗CCP抗体価が疾患活動性とよく相関したCRP陰性関節リウマチの1例, 第24回中部リウマチ学会, 2012.08.31-09.01 (名古屋).
80. 土田陽平, 坂井勇仁, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 和田庸子, 今井直史, 伊藤由美, **中野正明**, 成田一衛: 結核治療中に半月体形成性糸球体腎炎によるRPGNを呈した1例, 第42回日本腎臓学会東部学術大会, 2012.10.13-14 (新潟).
81. 後藤 慧, 和田庸子, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, **中野正明**, 成田一衛: 早期関節リウマチを合併し, 腎生検が診断に有用であった顕微鏡的多発血管炎の1例, 第42回日本腎臓学会東部学術大会, 2012.10.13-14 (新潟).
82. Wada Y, Nozawa Y, Sato H, Nakatsue T, Murakami S, Kuroda T, **Nakano M**, Narita I: Serum angiopoietin-2 level reflects the disease activity and renal function in antineutrophilic cytoplasmic antibody-associated vasculitis, American College of Rheumatology annual meeting 2012, November 9-14, 2012 (Washington, D.C.).
83. Wada Y, Nozawa Y, Sato H, Nakatsue T, Murakami S, Kuroda T, **Nakano M**, Narita I: Serum angiopoietin-2 level strongly reflects the disease activity and renal function in ANCA-associated vasculitis, Annual European Congress of Rheumatology 2012, June 6-9, 2012 (Berlin).
84. Kuroda T, Kobayashi D, Sato H, Nakatsue T, Wada Y, Murakami S, **Nakano M**, Narita I: Treatment with biologic agents improves the prognosis of patients with rheumatoid arthritis and amyloidosis, Annual European Congress of Rheumatology 2012, June 6-9, 2012 (Berlin).
85. Nakatsue T, Nozawa Y, Sato H, Wada Y, Nozawa Y, Murakami S, Kuroda T, **Nakano M**, Narita I: Anti-renin effect of alphacalcidol in systemic lupus erythematosus, Annual European Congress of Rheumatology 2012, June 6-9, 2012 (Berlin).
86. 中野正明, 黒田 毅, 成田一衛: MTX治療と平均赤血球容積 (MCV) 測定, 第18回新潟リウマチ医の会, 2012.01.07 (新潟).
87. 野澤由貴子, 吉田一浩, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 成田一衛, 塩路和彦, 黒田 毅, **中野正明**: 膜性腎症の経過中に自己免疫性膵炎, 前立腺炎で診断されたIgG4関連疾患の1例, 第130回日本内科学会信越地方会, 2012.06.02 (新潟).
88. 柴田 怜, 松尾浩司, 野澤由貴子, 佐藤弘恵, 中枝武司, 和田庸子, 村上修一, 成田一衛, 黒田 毅, **中野正明**: 皮膚筋炎の再燃に大量免疫グロブリン療法が奏効した1例, 第130回日本内科学会信越地方会, 2012.06.02 (新潟).
89. **中野正明**: メトトレキサート (MTX) 治療と平均赤血球容積 (MCV) 測定, Rheumatology Conference 2012, 2012.06.30 (東京).
90. 成田美和子, 増子正義, 山平晶恵, 井田桃里, 北嶋章子, 北嶋俊喜, 高橋益廣: imatinib併用WT1ペプチドワクチン療法によりMMRに至ったCML例におけるWT1-tetramer陽性CL8+T細胞のMLPC法を用いた4

年間の解析 第27回新潟血液免疫学研究会 2012年2月17日(新潟)

91. 成田美和子: 新潟Ph白血病研究会新規付随研究 第3回新潟Ph白血病研究会 2012年3月23日(新潟)
92. Narita M: Useful Cell Line (PMDC05) of Plasmacytoid Dendritic Cell for Custom made Immunotherapy BIOTech2012 2012.3.26(東京ビッグサイト)
93. Narita M, Masuko M, Yamahira A, Ida T, Kitajima A, Kitajima T, Takai K, Koike T, Takahashi M: Effectiveness of WT1 peptide vaccination in combination with imatinib therapy for an imatinib-resistant CML patient. 第17回欧州血液学会 2012.6.14-17(アムステルダム)
94. Narita M, Masuko M, Ida T, Uchiyama T, Satoh N, Iwabuchi M, Yamahira A, Furukawa T, Toba K, Takahashi M: imatinib併用WT1ペプチドワクチン療法によりMMRに至ったCML例のWT1-tetramer 陽性 CD8+T細胞の4年半の動態 日本造血器腫瘍免疫療法研究会 2012.8.22-24(金沢)
95. Satoh N, Uchiyama T, Narita M, Yamahira A, Iwabuchi M, Takahashi M: In vitro effect of dasatinib on proliferation and cytotoxicity of NK cells. 第71回日本癌学会学術総会 2012.9.19-21(札幌)
96. Iwabuchi M, Narita M, Yamahira A, Satoh N, Uchiyama T, Hashimoto S, Bonehill A, Faure-Kumar E, Bogan B, Kasahara N, Takahashi M: Enhancement of antigen-specific CTL inducing ability in the leukemic plasmacytoid dendritic cell line (PMDC11) by lentiviral vector-mediated transduction of caTLR4 gene. 第71回日本癌学会学術総会 2012.9.19-21(札幌)
97. Masuko M, Furukawa T, Koike T, Takai K, Nagai K, Koyama s, Kishi K, Seki Y, Takahashi H, Nikkuni K, Nomoto N, Aoki S, Shibasaki Y, Okazuka K, Abe A, Toba K, Narita M, Takahashi M, Shibata A: Clinical Investigation of Imatinib in CML - Multi-Institutional Co-operative Study (11th report). 第74回日本血液学会総会 2012.10.19-21(京都)
98. Narita M, Masuko M, Yamahira A, Uchiyama T, Iwabuchi M, Satoh N, Ida T, Kitajima A, Kitajima T, Furukawa T, Takahashi M: Effectiveness of WT1 peptide vaccination in combination with imatinib therapy for an imatinib-resistant CML patient. 第74回日本血液学会総会 2012.10.19-21(京都)
99. Uchiyama T, Satoh N, Narita M, Yamahira A, Iwabuchi M, Takahashi M: Direct effect of dasatinib on proliferation and cytotoxicity of NK cells in vitro study オーストラリア・ニュージーランド血液学会 2012.10.30-11.2(シドニー)
100. Yamahira A, Narita M, Ishii K, Iwabuchi M, Satoh N, Uchiyama T, Taniguchi T, Hashimoto S, Kasahara N, Faure-Kumar E, Takahashi M: Enhancement of antigen presenting ability in the leukemic plasmacytoid dendritic cell line (PMDC05) by lentiviral vector-mediated transduction of CD80 gene. オーストラリア・ニュージーランド血液学会 2012.10.30-11.2(シドニー)
101. Narita M, Masuko M, Uchiyama T, Ida T, Iwabuchi M, Satoh N, Furukawa T, Yamahira A, Sone H, Takahashi M: Long-term amplification of WT1-tetramer positive CD8+ cells in a patient with CML who achieved to MMR by WT1 peptide vaccine combined with imatinib. 第6回国際WT1会議 2012.11.22-23(京都)
102. 野崎洋明, 二本松萌, 斎藤洋兵, 志賀 篤, 加藤泰介, 小山哲秀, 水野敏樹, 野田智子, 垣内無一, 伊藤彰一, 西澤正豊, 小野寺理: HTRA1変異ヘテロ接合体と脳小血管病の関連厚生労働省 難治性疾患克服研究事業「遺伝性脳小血管病の病態機序の解明と治療法の開発班」班会議 2012年1月14日
103. Hiroaki Nozaki, Megumi Nihonmatsu, Yohei Saito, Maya Hariu, Atsushi Shiga, Akihide Koyama, Taisuke Kato, Yumi Semine, Ikuko Mizuta, Toshiki Mizuno, Tomoko Noda, Muichi Kaito, Shoichi Ito, Masatoyo Nishizawa, Osamu Onodera: HTRA1 mutation heterozygosity causes a cerebral small-vessel disease. BRI International Symposium 2012, March 3-4, 2012
104. 野崎洋明, 二本松萌, 斎藤洋兵, 志賀 篤, 小山哲秀, 加藤泰介, 水田依久子, 水野敏樹, 小池亮子, 野田智子, 垣内無一, 伊藤彰一, 原 賢寿, 小林 央, 桑野良三, 西澤正豊, 小野寺理: 片側アレルにのみHTRA1ミスセンス変異を有する例でも脳小血管病を引き起こす. 第53回日本神経学会学術大会 2012年5月23日.
105. 酒井直子, 野崎洋明, 宇津見宏太, 畠山公大, 青木 洋, 松田真樹子, 西原広史, 下畑亨良, 高橋 均,

西澤正豊：脳に局限し，ステロイドが奏効したlymphomatoid granulomatosisの1例. 第130回内科信越地方会  
2012年6月2日

106. **野崎洋明**：遺伝性脳小血管病の分子病態update. J-CAN2012 2012年8月25日.
107. **野崎洋明**, 関根有美, 福武敏夫, 西本祥仁, 白田明子, 下江 豊, 中野今治, 柳川宗平, 平山幹夫, 西澤正豊, 小野寺理：CARASILのMRI所見. 新潟画像医学研究会 2012年10月20日
108. 栗田絵里加, 関根智美, **平野茂樹**：心・肝混合細胞移植による鳥類漿尿膜上での肝臓の再生実験. 第117回日本解剖学会総会 抄録集2O-GM-AM-14, 2012, p 118
109. 栗田絵里加, **平野茂樹**：ニワトリ漿尿膜上におけるニワトリ・マウス由来心・肝混合細胞移植による肝臓再生. 第11回コ・メディカル形態機能学会, 2012